

令和 6 年度

福知山市企業会計決算審査意見書

福知山市水道事業会計

福知山市下水道事業会計

福知山市病院事業会計

福知山市監査委員

監査第349号
令和7年8月28日

福知山市長 大橋一夫様

福知山市監査委員 長坂 勉

福知山市監査委員 中嶋 守

決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された令和6年度福知山市企業会計決算を審査した結果について、別紙のとおりその意見を提出します。

令和6年度福知山市企業会計決算審査意見書

目 次

審査の対象	1
審査の期間	1
審査の方法	1
審査の結果	1

水道事業会計

1 業務実績	3
2 予算執行状況について	6
3 経営状況（損益収支）について	8
4 財政状況（貸借対照表）について	10
5 キャッシュ・フローについて	15
6 むすび	16

水道事業会計決算審査資料

1 損益計算書構成並びにすう勢比率表	19
2 貸借対照表構成並びにすう勢比率表	20
3 令和6年度配水量調べ	21
4 企業債の償還予定表	22

下水道事業会計

1 業務実績	23
2 予算執行状況について	26
3 経営状況（損益収支）について	28
4 財政状況（貸借対照表）について	31
5 キャッシュ・フローについて	36
6 むすび	37

下水道事業会計決算審査資料

1 損益計算書構成並びにすう勢比率表	40
2 貸借対照表構成並びにすう勢比率表	41
3 企業債の償還予定表	42

病院事業会計

1 業務実績	4 3
2 予算執行状況について	4 7
3 経営状況（損益収支）について	5 0
4 財政状況（貸借対照表）について	5 4
5 キャッシュ・フローについて	6 0
6 むすび	6 1

病院事業会計決算審査資料

1 損益計算書構成並びにすう勢比率表〔市民病院〕	6 3
2 損益計算書構成並びにすう勢比率表〔大江分院〕	6 4
3 貸借対照表構成並びにすう勢比率表〔市民病院〕	6 5
4 貸借対照表構成並びにすう勢比率表〔大江分院〕	6 6
5 診療科目別・月別入院患者数の状況表〔市民病院〕	6 7
6 診療科目別・月別外来患者数の状況表〔市民病院〕	6 8
7 診療科目別・月別患者数の状況表〔大江分院〕	6 9
8 企業債の償還予定表〔市民病院〕	7 0
9 企業債の償還予定表〔大江分院〕	7 1

表記に関する注意事項

- 1 表中で割合を算出しているものは、小数点以下第3位を四捨五入している。
- 2 表中の割合は、内訳の計と合計 100%と一致しない場合がある。

決算審査意見書

審査の対象

福知山市水道事業会計決算

福知山市下水道事業会計決算

福知山市病院事業会計決算

審査の期間

令和7年6月23日から令和7年8月8日まで

審査の方法

決算審査は、市長から送付された決算諸表が法令に準拠して作成され、事業の財政状態並びに経営成績が適正に表示されているかどうかを、会計帳簿、証ひょう書類と照合したほか、関係職員の説明を聴取して実施した。

審査の結果

決算書類は、地方公営企業関係法令にしたがって作成されており、財政状態及び経営成績は適正に表示されているものと認めた。

なお、財政状態及び経営成績について、計数を分析比較して検討した概数は、次のとおりである。

福知山市水道事業会計

水道事業

1 業務実績

令和6年度末の給水戸数は、前年度に比べ 175 戸(0.48%)増加し、3 万 6,812 戸となっている。

また、給水人口では、前年度に比べ 691 人(0.93%)減少し、7 万 3,748 人となり、総人口 7 万 4,009 人に対する普及率は 99.65%となっている。

年間給水量は、前年度に比べ 9 万 3,807 m³(1.04%)減少し、889 万 6,979 m³となっている。これは予算に定められた年間総給水量 897 万 2,000 m³の 99.16%である。

一方、給水量 1 m³当たりの損益については、14.12 円の損失となっているが、当年度の収支差引は 7,428 万 6,081 円の純利益となっている。

業務実績を前年度と比較すると次のとおりである。

<業務実績前年度比較>

項目	令和6年度	令和5年度	増減	摘要
総世帯数(世帯)	36,798	36,712	86	年度末現在
総人口(人)①	74,009	74,704	△695	"
計画給水人口(人)	79,330	79,330	0	
現在給水人口(人)②	73,748	74,439	△691	年度末現在
普及率(%)	99.65	99.65	0	$\frac{\text{②}}{\text{①}} \times 100$
給水戸数(戸)	36,812	36,637	175	令和6年度予算に定めた業務予定量 36,850戸
年間配水量(m³)③	10,713,206	10,823,165	△109,959	
年間給水量(m³)④	8,896,979	8,990,786	△93,807	令和6年度予算に定めた業務予定量 8,972,000m³
有収水量率(%)	83.05	83.07	△0.02	$\frac{\text{④}}{\text{③}} \times 100$
職員数(人)	24	24	0	年度末現在
給水量1m³当たり(円) 給水原価	197.06	185.95	11.11	経常費用(総費用)-(受託工事費+不用品売却原価)-長期前受金戻入 年間給水量
給水量1m³当たり(円) 供給単価	182.94	182.65	0.29	給水収益 年間給水量
給水量1m³当たり(円) 損益	△14.12	△3.30	△10.82	供給単価-給水原価

有収水量率は83.05%で、前年度に比べ0.02ポイント下回っている。

また、給水量1m³当たりの給水原価は、前年度に比べ11.11円増加し197.06円、供給単価は0.29円増加し182.94円となっている。その結果、給水量1m³当たりの損益としては14.12円の損失となっており、前年度に比べると10.82円損失が増加している。

配水量に対する効率を年度別に比較すると次のとおりである。

<配水量等年度別比較>

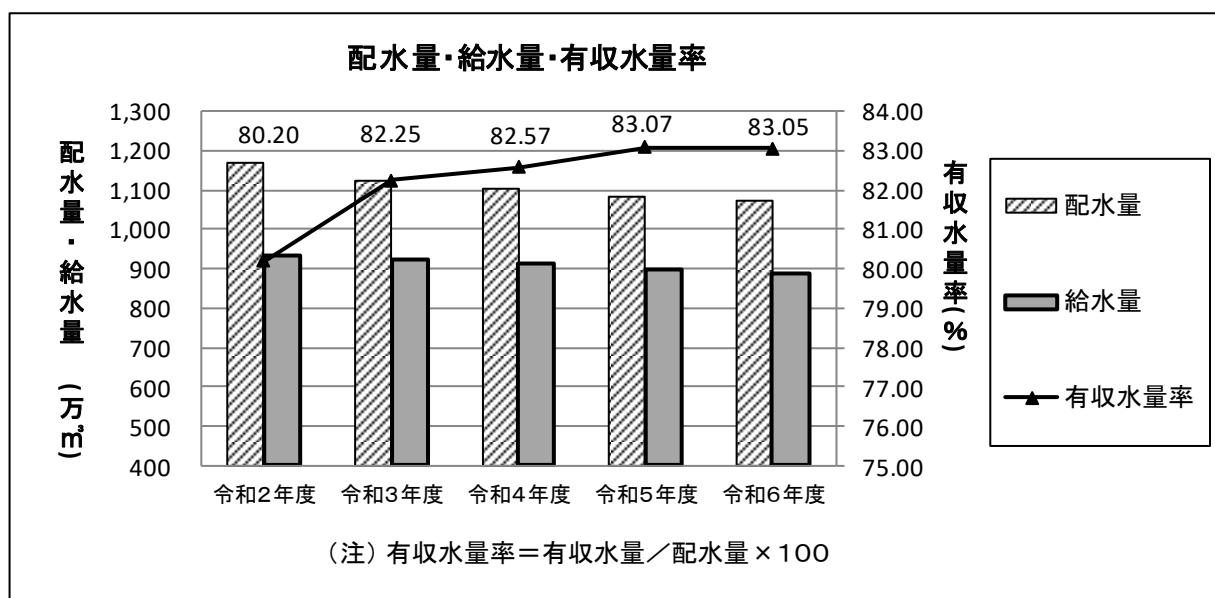
(単位: m³・%)

区分	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和6年度対令和5年度	
		構成比率		構成比率		構成比率	比較増減	増減率
配水量	10,713,206	100.00	10,823,165	100.00	11,035,766	100.00	△ 109,959	△ 1.02
1 有効水量	9,677,511	90.33	9,777,389	90.34	9,924,643	89.93	△ 99,878	△ 1.02
(1)有収水量	8,896,979	83.05	8,990,786	83.07	9,112,511	82.57	△ 93,807	△ 1.04
(2)無収水量	780,532	7.28	786,603	7.27	812,132	7.36	△ 6,071	△ 0.77
2 無効水量	1,035,695	9.67	1,045,776	9.66	1,111,123	10.07	△ 10,081	△ 0.96

有効水量は、前年度と比較して9万9,878 m³(1.02%)減少している。

無効水量は、前年度より1万81 m³(0.96%)減少し103万5,695 m³となり、配水量に対する割合は、前年度より0.01ポイント増加し、9.67%となっている。

最近5か年の配水量、給水量、有収水量率の推移をグラフに示すと次の図のとおりである。



最近5か年の配水量及び給水量ともに微減で推移している。

令和6年度の配水量に対する給水量の比率を示す有収水量率は、配水管布設替えによる老朽管の更新や包括的民間委託業者の保守管理及び修繕業務等が適切に行われたことなどにより、前年度同水準で推移している。

2 予算執行状況について（消費税及び地方消費税を含む。）

(1) 収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的収入＞

(単位:円・%)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に対する 決算割合			
	構成比率		(うち仮受消費税 及び地方消費税)		構成比率			
	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度		
事業収益	2,390,713,000	100.00	100.00	2,342,174,082	100.00	100.00	97.97	99.12
営業収益	1,846,019,000	77.22	77.40	1,826,418,010 (165,784,926)	77.98	78.42	98.94	100.43
営業外収益	544,694,000	22.78	22.60	515,756,072 (161,245)	22.02	21.58	94.69	94.64

予算額に対する決算割合は97.97%で、前年度に比べ1.15ポイント下回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

＜収益的支出＞

(単位:円・%)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に対する 決算割合			
	構成比率		(うち仮払消費税 及び地方消費税)		構成比率			
	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度		
事業費用	2,268,639,000	100.00	100.00	2,188,821,754	100.00	100.00	96.48	93.04
営業費用	2,111,067,039	93.05	92.54	2,033,821,793 (73,098,189)	92.92	92.09	96.34	92.58
営業外費用	154,999,961	6.83	7.36	154,999,961 (201,796)	7.08	7.91	100.00	100.00
特別損失	372,000	0.02	-	0	-	-	-	-
予備費	2,200,000	0.10	0.10	0	-	-	-	-

予算額に対する決算割合は96.48%で、前年度に比べ3.44ポイント上回っている。

(2) 資本的収支

資本的収支について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

<資本的収支>

(単位:円・%)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に対する 決算割合				
	(うち前年度 予算繰越額)		構成比率		(うち仮受・仮払消費 税及び地方消費税)		構成比率		
	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	
資本的収入	1,671,976,000 (72,399,000)	100.00	100.00	1,161,161,007	100.00	100.00	69.45	75.77	
企 業 債	1,051,200,000 (70,500,000)	62.87	63.94	817,300,000	70.39	58.77	77.75	69.63	
負 担 金	136,815,000 (1,899,000)	8.18	11.65	67,869,141 (156,726)	5.84	8.32	49.61	54.07	
加 入 金	59,631,000	3.57	3.96	64,779,000 (5,889,000)	5.58	5.92	108.63	113.08	
出 資 金	292,206,000	17.48	15.06	210,468,866	18.13	19.88	72.03	100.00	
補 助 金	131,526,000	7.87	5.38	744,000	0.06	7.12	0.57	100.31	
固 定 資 産 売 却 代 金	598,000	0.04	-	0	-	-	-	-	
資本的支出	2,493,376,000 (81,675,000)	100.00	100.00	1,918,767,852	100.00	100.00	76.95	80.01	
建設改良費	1,619,765,000 (81,675,000)	64.96	65.32	1,045,156,998 (90,750,428)	54.47	56.66	64.53	69.40	
企業債償還金	873,611,000	35.04	34.68	873,610,854	45.53	43.34	100.00	100.00	
収支不足額	△821,400,000	-	-	△757,606,845	-	-	92.23	87.26	
補てん 財源	損 益 勘 定 留 保 資 金	609,217,000	74.17	78.42	558,295,200	73.69	76.93	91.64	85.61
	減債積立金	120,000,000	14.61	11.97	120,000,000	15.84	13.71	100.00	100.00
	消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	92,183,000	11.22	9.61	79,311,645	10.47	9.35	86.04	84.91
	計	821,400,000	100.00	100.00	757,606,845	100.00	100.00	92.23	87.26

決算額における資本的収入額は11億6,116万1,007円、資本的支出額は19億1,876万7,852円で、収支不足額7億5,760万6,845円は、補てん財源の損益勘定留保資金5億5,829万5,200円、減債積立金1億2,000万円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,931万1,645円で補てんされている。

3 経営状況(損益収支)について（消費税及び地方消費税を除く。）

損益収支の状況を年度別に比較すると、次のとおりである。

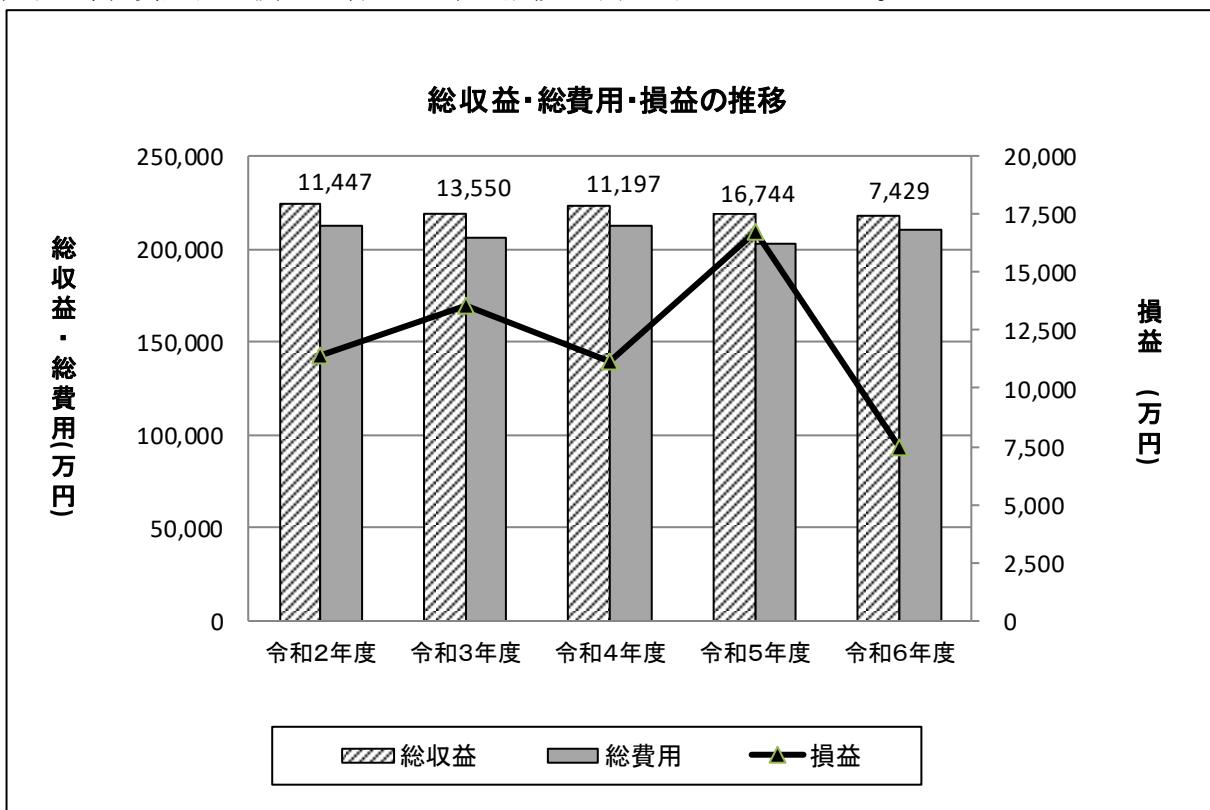
<損益収支の年度別比較>

(単位:円・%)

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和6年度対令和5年度	
				比較増減	増減率
総 収 益	2,176,345,594	2,192,716,309	2,233,583,156	△16,370,715	△ 0.75
総 費 用	2,102,059,513	2,025,271,981	2,121,616,065	76,787,532	3.79
損 益	74,286,081	167,444,328	111,967,091	△93,158,247	△ 55.64

損益は、前年度に比べ総収益が1,637万715円減少し、総費用が7,678万7,532円増加した。総収益が総費用を上回り7,428万6,081円の黒字となっており、損益収支は前年度に比べ9,315万8,247円減少している。

総収益、総費用及び損益の最近5か年の推移は下記の図のとおりである。



平成30年度以降7年連続で黒字である。

令和6年度の損益収支は総費用の増加が影響し令和5年度の収支を下回った。

事業費用を性質別に分類して、年度別に比較すると次のとおりである。

＜性質別に分類した事業費用の年度別比較＞

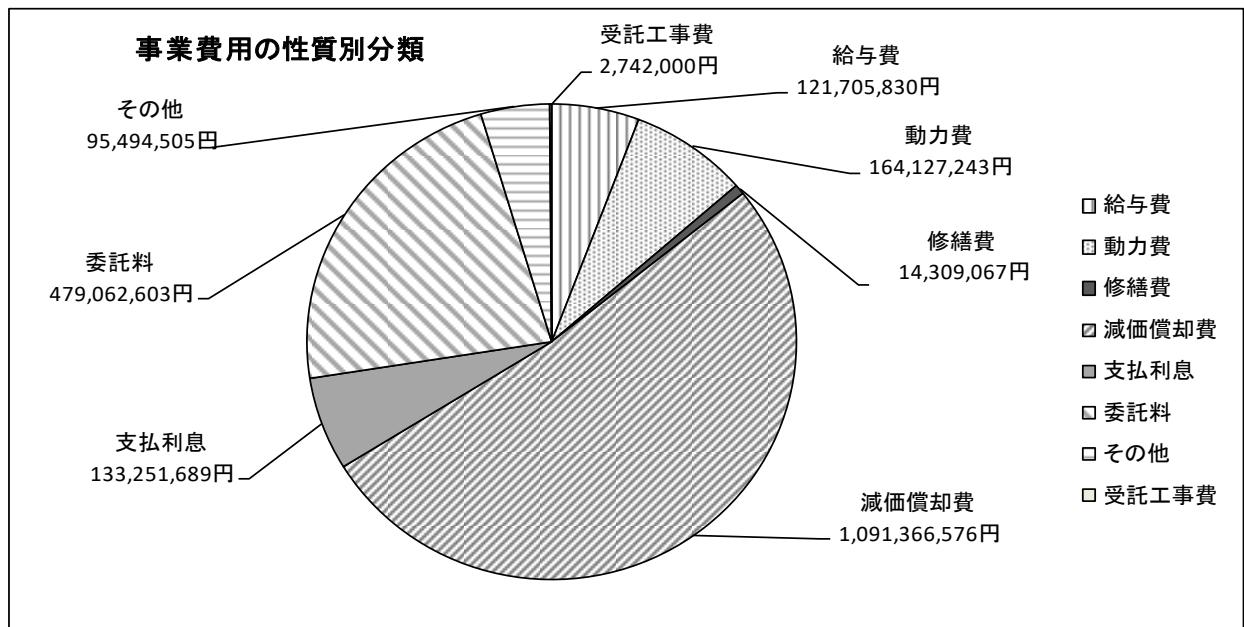
(単位:円・%)

性質別分類	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和6年度対令和5年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	比較増減	増減率
給与費	121,705,830	5.79	113,806,952	5.62	116,961,376	5.51	7,898,878	6.94
動力費	164,127,243	7.81	144,031,066	7.11	187,050,077	8.82	20,096,177	13.95
修繕費	14,309,067	0.68	16,272,258	0.80	51,569,422	2.43	△1,963,191	△12.06
減価償却費	1,091,366,576	51.92	1,061,826,762	52.43	1,068,556,406	50.37	29,539,814	2.78
支払利息	133,251,689	6.34	140,809,383	6.95	149,569,364	7.05	△7,557,694	△5.37
委託料	479,062,603	22.79	455,053,725	22.47	444,544,400	20.95	24,008,878	5.28
その他	95,494,505	4.54	82,288,199	4.06	81,416,656	3.84	13,206,306	16.05
受託工事費	2,742,000	0.13	11,183,636	0.55	21,948,364	1.03	△8,441,636	△75.48
計	2,102,059,513	100.00	2,025,271,981	100.00	2,121,616,065	100.00	76,787,532	3.79

(注) 給与費は、給料、手当等、報酬、法定福利費、賞与引当金繰入額である。

事業費用は、前年度に比べ7,678万7,532円(3.79%)増加している。

性質別に分類した費用は、修繕費・支払利息・受託工事費を除き前年度に比べて増加しており、その主なものは減価償却費・委託料・動力費である。



4 財政状況(貸借対照表)について

(1) 資産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

<資産の前年度比較>

(単位:円)

区分	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	22,137,867,832	22,204,535,488	△66,667,656
有形固定資産	21,888,524,084	21,955,158,554	△66,634,470
無形固定資産	4,294,400	4,749,200	△454,800
投資その他の資産	245,049,348	244,627,734	421,614
流動資産	1,742,227,507	1,495,059,515	247,167,992
現金預金	1,512,939,207	1,277,690,805	235,248,402
未収金	188,517,546	178,339,422	10,178,124
貸倒引当金	△2,645,506	△3,026,581	381,075
貯蔵品	41,534,270	42,055,869	△521,599
その他流動資産	1,881,990	-	1,881,990
資産合計	23,880,095,339	23,699,595,003	180,500,336

資産は、前年度に比べ1億8,050万336円(0.76%)増加している。

固定資産は、221億3,786万7,832円で前年度に比べ6,666万7,656円(0.30%)減少している。

流動資産は、17億4,222万7,507円で前年度に比べ2億4,716万7,992円(16.53%)増加している。

貯蔵品(材料、量水器等)のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

有形固定資産現在高の増減状況は、次のとおりである。

<有形固定資産現在高の増減状況>

(単位:円)

項 目	増加したもの		減少したもの		増 減
	金 額	説 明	金 額	説 明	
建 物	9,814,346	施設用建物 9,814,346	-		9,814,346
構 築 物	535,641,715	配水管 489,323,143 配水設備 23,260,821 その他構築物 23,057,751	17,888,961	配水設備 17,888,961	517,752,754
機 械 及 び 装 置	272,438,811	電気設備 134,997,109 ポンプ設備 12,033,306 塩素滅菌設備 17,472,581 量水器 1,782,156 その他機械装置 106,153,659	17,299,608	塩素滅菌設備 9,484,861 量水器 1,229,490 その他機械装置 6,585,257	255,139,203
工具器具備品	42,430,246	工具器具備品 42,430,246	2,957,660	工具器具備品 2,957,660	39,472,586
建設仮勘定	205,440,907	振替増分 205,440,907	31,459,455	精算振替減分 31,459,455	173,981,452
計	1,065,766,025	-	69,605,684	-	996,160,341

有形固定資産の差引増加額は、9 億 9,616 万 341 円である。

年度末における有形固定資産の現在高は 424 億 1,827 万 433 円で減価償却累計額 205 億 2,974 万 6,349 円を控除すると年度末の償却未済高は 218 億 8,852 万 4,084 円である。

債権放棄により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

＜不納欠損処分の内訳＞

債権名	人数(人)	件数(件)	金額(円)	理由別内訳			
水道料金	217	662	1,347,442	生活困窮	11 人	24 件	31,053 円
				破産免責	5 人	10 件	53,151 円
				時効到来	201 人	628 件	1,263,238 円
計	217	662	1,347,442				

債権放棄は、福知山市債権管理条例第 11 条第 1 項各号の規定により行われており、不納欠損は前年度に比べ人数は 62 人、件数は 50 件増加したが、金額では 138 万 8,118 円減少している。

(2) 負債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜固定負債の前年度比較＞

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
企 業 債	9,098,248,239	9,147,474,095	△49,225,856
引 当 金	124,889,406	124,889,406	0
計	9,223,137,645	9,272,363,501	△49,225,856

固定負債は、前年度に比べ 4,922 万 5,856 円 (0.53%) 減少して 92 億 2,313 万 7,645 円となっている。これは、主に新規の企業債借入れが 8 億 1,730 万円に対して、翌年度の償還額 8 億 6,652 万 5,856 円が流動負債に振り替えられたことによるものである。引当金については、前年度と増減はない。

流動負債を前年度と比較すると次のとおりで、不良債務はない。

＜流動負債の前年度比較＞

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
企 業 債	866,525,856	873,610,854	△7,084,998
未 払 金	334,124,332	244,299,329	89,825,003
前 受 金	280,000	305,100	△25,100
預 り 金	23,758,463	22,669,780	1,088,683
引 当 金	15,655,141	14,392,550	1,262,591
そ の 他 流 動 負 債	1,881,990	-	1,881,990
計	1,242,225,782	1,155,277,613	86,948,169

流動負債は、前年度に比べ8,694万8,169円(7.53%)増加し、12億4,222万5,782円となっている。

その主な要因は、工事代金などにかかる未払金が8,982万5,003円増加したことなどによるものである。

繰延収益を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜繰延収益の前年度比較＞

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
長 期 前 受 金	13,639,564,348	13,446,764,250	192,800,098
長期前受金収益化累計額	△7,090,540,302	△6,755,763,280	△334,777,022
計	6,549,024,046	6,691,000,970	△141,976,924

繰延収益は、前年度に比べ1億4,197万6,924円(2.12%)減少し、65億4,902万4,046円となって
いる。

(3) 資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

<資本金の前年度比較>

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
資 本 金	4,845,554,771	4,525,085,905	320,468,866
自 己 資 本 金	4,845,554,771	4,525,085,905	320,468,866
固 有 資 本 金	1,356,798,305	1,356,798,305	0
出 資 金	2,002,852,895	1,792,384,029	210,468,866
組 入 資 本 金	1,485,903,571	1,375,903,571	110,000,000

資本金は前年度に比べ3億2,046万8,866円(7.08%)増加し、48億4,555万4,771円となっている。

出資金は、一般会計からの繰入金により前年度に比べ2億1,046万8,866円(11.74%)増加している。

組入資本金は、未処分利益剰余金からの組み入れにより前年度に比べ1億1,000万円(7.99%)増加している。

(4) 剰余金

剰余金を前年度と比較すると、次のとおりである。

<剰余金の前年度比較>

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
剩 余 金	2,020,153,095	2,055,867,014	△35,713,919
資 本 剰 余 金	1,375,231,902	1,375,231,902	0
受 贈 財 産 評 價 額	146,149,849	146,149,849	0
国 府 補 助 金	218,205,663	218,205,663	0
工 事 負 担 金	67,146,954	67,146,954	0
そ の 他 資 本 剰 余 金	943,729,436	943,729,436	0
利 益 剰 余 金	644,921,193	680,635,112	△35,713,919
減 債 積 立 金	342,950,112	295,505,784	47,444,328
建 設 改 良 積 立 金	107,685,000	107,685,000	0
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	194,286,081	277,444,328	△83,158,247

剰余金は、前年度に比べ3,571万3,919円(1.74%)減少して20億2,015万3,095円となっている。

資本剰余金に増減はなく、利益剰余金のうち減債積立金は4,744万4,328円増加しているが、当年度未処分利益剰余金は8,315万8,247円減少している。

5 キャッシュ・フローについて

水道事業会計におけるキャッシュ・フローは以下のとおりである。

<キャッシュ・フローの状況>

(単位:円)

区分	金額
A 資金期首残高	1,277,690,805
① 業務活動によるキャッシュ・フロー	939,703,584
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△858,613,194
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	154,158,012
B 資金増減額 (①+②+③)	235,248,402
C 資金期末残高 (A+B)	1,512,939,207

キャッシュ・フロー計算書の資金期末残高は、貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

6 むすび

業務実績をみると、令和6年度末の給水戸数は前年度に比べ 175 戸増加し、3万 6,812 戸となっている。給水人口の減少や、単身世帯の増加等によって、1戸あたりの年間使用量は、令和3年度より減少傾向が続いている。令和6年度は、前年度に比べ 3.71 m^3 (1.51%) 減の 241.69 m^3 であり、毎年、同程度の使用量が減少している状況である。

(参考資料)

項目	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
給 水 戸 数 (戸)	36,812	36,637	36,375
有 収 水 量 (m^3)	8,896,979	8,990,786	9,112,511
一戸当たり使用量 (m^3)	241.69	245.40	250.52

今後も給水人口の減少が見込まれることから、有収水量の減少は続いているものと考えられるため、水需要の動向を見据えた事業運営が求められる。

令和6年度の損益は、次のとおりである。

事業収益については、給水収益が前年度と比較して減少したことなどにより、前年度に比べ 1,813 万 1,677 円 (0.77%) の減少となった。

事業費用については、性質別分類によると修繕費・支払利息・受託工事費が減少したものの、その一方で減価償却費・委託料・動力費等が増加しており、費用全体では前年度決算に比べ 7,678 万 7,532 円 (3.79%) の増加となっている。

この結果、当年度收支は 7,428 万 6,081 円の純利益を計上し、前年度に引き続き黒字決算となっている。

債権の放棄による不納欠損処分は、前年度に比べ人数は 62 人、件数は 50 件増加したが、金額では 138 万 8,118 円の減少となっている。

不納欠損の処理については、今後も法令等を遵守し、適正に処理されたい。また、負担の公平性を確保するため、適正な債権管理を行うとともに、早期徴収体制の強化を講じるなど、新たな滞納者を発生させない取組や滞納の長期化を防止する取組により収納率の向上に継続して努められたい。

次に経営分析からみた経営の状況は以下のとおりである。

- ① 流動比率については、一年間の支払い能力を示し安全性を判断する指標であり、100%以上あることが必要であるとされている。前年度と比べ 10.84 ポイント向上して 140.25% となっており、全体として健全な財政状況であると認められることから、引き続き財政基盤の強化に努められたい。
- ② 固定資産回転率については、生産設備がどの程度経営活動に有効活用されたかを判断する指標として大きいほど良いとされているが、前年度と同数値の 0.075 回となっている。
- ③ 固定長期適合率については、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示す指標で 100%

以下が健全とされており、前年度と比べ 0.70 ポイント向上し、97.79%となっている。

- ④ 営業利益率については、利益幅の程度を示す指標であり高い方が良好とされているものであるが、前年度と比べ 6.31 ポイント低下し、△18.07%となっている。今後も営業費用の削減を図るなど経営の更なる効率化を図るとともに利益の向上に一層の努力が必要である。

(参考資料)

① 流動比率	流動資産	令和6年度	令和5年度
	流動負債	140.25%	129.41%
② 固定資産回転率	営業収益 - 受託工事収益	令和6年度	令和5年度
	(期末固定資産 + 期首固定資産) ÷ 2	0.075回	0.075回
③ 固定長期適合率	固定資産	令和6年度	令和5年度
	自己資本 + 固定負債 + 繰延収益 (自己資本 = 自己資本金 + 剰余金)	97.79%	98.49%
④ 営業利益率	営業利益	令和6年度	令和5年度
	営業収益	△ 18.07%	△ 11.76%

令和6年度の決算状況をみると、当年度収支は 7,428 万 6,081 円の純利益を計上し、過去 7 年連続して黒字となっており、その他各種財務指標についても、一定の成果が図られていると認められた。

しかし、水道事業を取り巻く昨今の環境は、人口の減少や節水気運の高まりなどの要因により経営基盤の根幹をなす給水収益は減少傾向にある。また、物価高騰による動力費等の諸経費が増大しており、給水量 1 m³当たりの給水原価が供給単価を上回る状況となっている。

さらに、災害対応力の強化等のための強靭な水道設備の構築が求められている中、今後においても、老朽化した主要設備や管路の更新、耐震化などに多額の設備投資が必要であり、加えて物価高騰による諸経費も増大しており、財源の確保をはじめとして、厳しい経営状況が続くものと予想される。

令和6年度は、令和5年度に引き続き老朽化した配水管の布設替工事のほか、芦渕浄水場において有機フッ素化合物のPFOS、PFOAを除去する前処理設備設置工事等が行われた。徹底した水質管理のもとで、安心・安全な水道水を将来にわたって安定的に供給していくために今後も必要不可欠な事業を計画的に進められたい。

水道は市民生活に欠かすことのできない重要なライフラインであり、安心・安全で良質な水を安定的に供給することは水道事業の責務であり、併せて、独立採算制を原則とした公営企業として、

将来にわたる安定した経営を持続させることも責務として求められている。令和6年度からスタートした第二次福知山市上水道事業等包括的民間委託の検証を行いながら、さらに効率的、効果的な上水道経営に努め、今後も水道事業経営戦略に基づき、将来に亘り、経営の健全化を確保し安定的な水道サービスが提供されることを望むものである。

1 損益計算書構成並びにすう勢比率表

(注) すう勢比率は、令和4年度を100%とする。

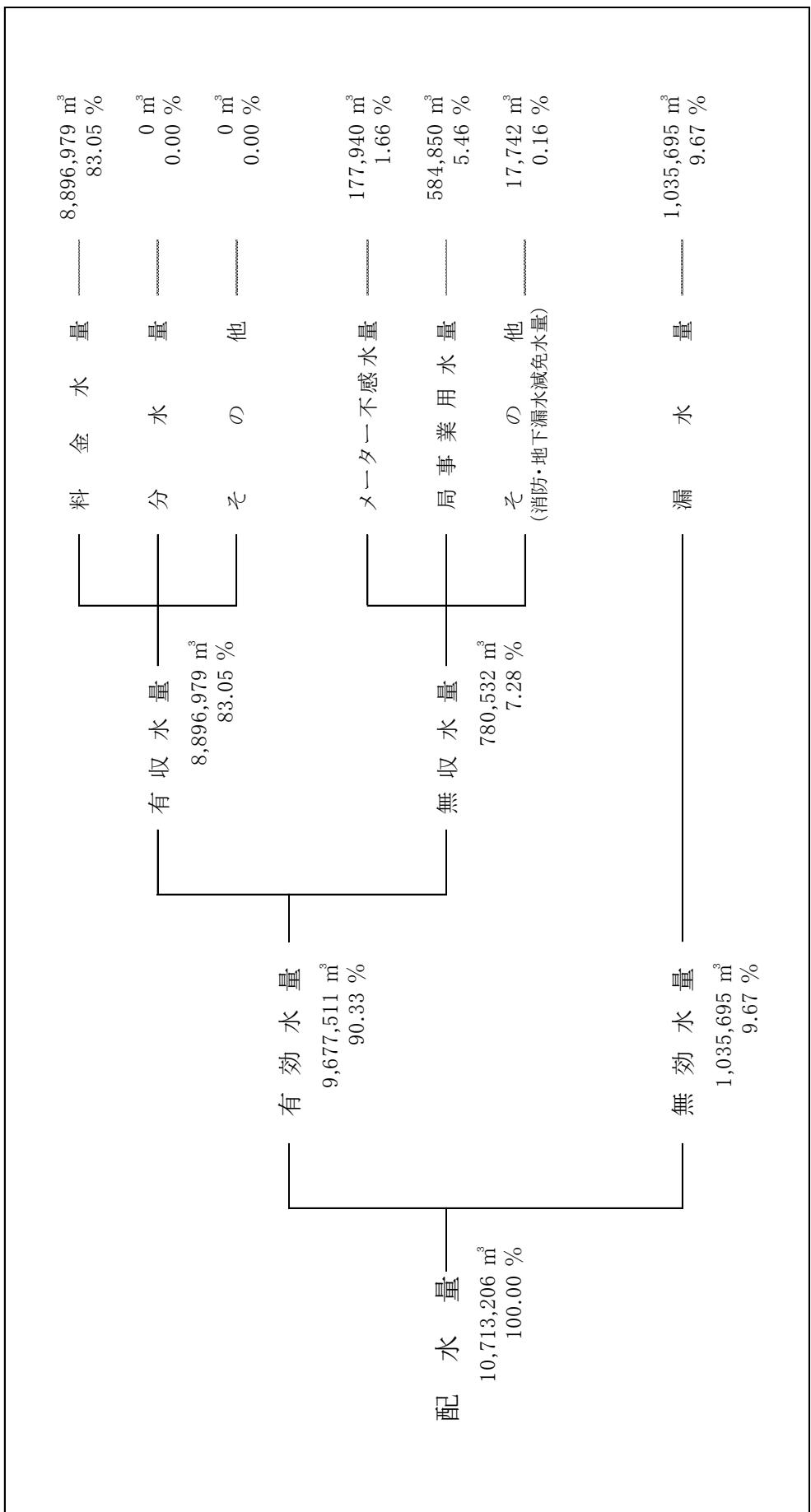
科 目	金 額	借 方			貸 方			構 成 比 率	すう勢 比 率	構 成 比 率	すう勢 比 率
		令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度				
1 営 業 費 用	1,960,723,604	93.28	92.89	99.83	95.78	1 営 業 収 益	1,660,646,328	76.30	76.77	98.12	99.46
(1) 原水及び淨水費	464,810,018	22.11	20.16	106.51	93.55	(1) 給 水 収 益	1,627,570,349	74.78	74.89	98.57	99.46
(2) 配水及び給水費	241,298,113	11.48	12.04	82.66	83.55	(2) 受 託 工 事 収 益	2,742,000	0.13	0.46	22.59	82.92
(3) 受 託 工 事 費	2,742,000	0.13	0.55	12.49	50.95	(3) そ の 他 営 業 収 益	30,333,979	1.39	1.42	103.73	106.48
(4) 総 係 費	148,232,633	7.05	7.47	103.00	105.14	2 営 業 外 収 益	515,699,266	23.70	23.23	96.40	95.21
(5) 減 価 償 却 費	1,091,366,576	51.92	52.43	102.13	99.37	(1) 受取利息及び配当金	2,507,612	0.12	0.10	153.54	130.77
(6) 資 産 減 耗 費	12,274,264	0.58	0.24	884.58	343.54	(2) 他 会 計 補 助 金	150,182,270	6.90	5.73	86.70	72.48
(7) そ の 他 営 業 費 用	-	-	0.00	-	-	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	346,075,282	15.90	15.61	99.08	97.99
2 営 業 外 費 用	141,335,909	6.72	7.11	89.73	91.44	(4) 雜 収 益	16,934,102	0.78	1.80	155.98	363.11
(1) 支 払 利 息	133,251,689	6.34	6.95	89.09	94.14	3 特 別 利 益	-	-	-	-	-
(2) 雜 支 出	8,084,220	0.38	0.16	101.81	40.55	(1) 固 定 資 產 売 却 益	-	-	-	-	-
小 計	2,102,059,513	100.00	100.00	99.08	95.46						
当 年 度 純 利 益	74,286,081	-	-	66.35	149.55						
合 計	2,176,345,594	-	-	97.44	98.17	合 計	2,176,345,594	100.00	100.00	97.44	98.17

2 貸借対照表構成並びにすう勢比率表

(注) すう勢比率は、令和4年度を100%とする。

借 方		構 成 比 率		すう勢 比 率		借 方		構 成 比 率		すう勢 比 率	
科 目	金 額	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	科 目	金 額	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
1 固 定 資 産	22,137,867,832	92.70	93.69	99.64	99.94	1 固 定 負 債	9,223,137,645	38.62	39.12	97.64	98.16
(1) 有形固定資産	21,888,524,084	91.66	92.64	99.64	99.95	(1) 企 業 債 債	9,068,248,239	38.10	38.60	97.61	98.13
(2) 無形固定資産	4,294,400	0.02	0.02	57.65	63.76	(2) 引 当 金	124,889,406	0.52	0.53	100.00	100.00
(3) 投 資	245,049,348	1.03	1.03	100.35	100.17	2 流 動 負 債	1,242,225,782	5.20	4.87	119.63	111.26
2 流 動 資 産	1,742,227,507	7.30	6.31	142.19	122.02	(1) 企 業 債 債	866,525,856	3.63	3.69	100.33	101.15
(1) 現 金 預 金	1,512,939,207	6.34	5.39	172.16	145.39	(2) 未 払 金	334,124,332	1.40	1.03	250.36	183.05
(2) 未 収 金	188,517,546	0.79	0.75	60.75	57.47	(3) 前 受 金	280,000	0.00	0.00	118.09	128.68
貸倒引当金	△2,645,506	△0.01	-	-	(4) 預 り 金	23,758,463	0.10	0.10	92.19	87.97	
(3) 貯 藏 品	41,534,270	0.17	0.18	105.33	106.65	(5) 引 当 金	15,655,141	0.07	0.06	107.99	99.28
その他流動資産	1,881,990	0.01	-	-	そ の 他 流 動 負 債	1,881,990	0.01	-	261.49	-	
					3 繰 延 収 益	6,549,024,046	27.42	28.23	96.56	98.65	
					(1) 長 期 前 受 金	13,629,564,348	57.12	56.74	103.28	101.82	
					(2) 長 期 前 受 金 収 益	△7,090,540,302	△29.69	△28.51	-	-	
					4 資 本 金	4,845,554,771	20.29	19.09	115.69	108.04	
					(1) 自 己 資 本 金	4,845,554,771	20.29	19.09	115.69	108.04	
					5 剰 余 金	2,020,153,095	8.46	8.67	101.60	103.39	
					(1) 資 本 剰 余 金	1,375,231,902	5.76	5.80	100.00	100.00	
					(2) 利 益 剰 余 金	644,921,193	2.70	2.87	105.17	111.00	
資 産 合 計	23,880,095,339	100.00	101.86	101.09	負 債 資 本 合 計	23,880,095,339	100.00	100.00	101.86	101.09	

3 合和 6 年度配水量調べ



4 企 業 債 の 償 還 予 定 表

年 度	区 分	元 金	利 子	計
令 和 7 年 度		866,525,856 円	132,369,123 円	998,894,979 円
令 和 8 年 度		843,320,833	117,873,236	961,194,069
令 和 9 年 度		750,568,971	104,468,103	855,037,074
令 和 10 年 度		701,276,898	92,784,200	794,061,098
令 和 11 年 度		646,339,260	81,982,134	728,321,394
令 和 12 年 度		561,879,279	72,350,122	634,229,401
令 和 13 年 度		489,094,637	64,374,458	553,469,095
令 和 14 年 度		430,813,069	57,612,793	488,425,862
令 和 15 年 度		419,482,595	51,792,717	471,275,312
令 和 16 年 度		409,703,223	46,109,002	455,812,225
令和17年度～令和36年度	合 計	3,845,769,474	286,508,852	4,132,278,326
	合 計	9,964,774,095	1,108,224,740	11,072,998,835

福知山市下水道事業会計

下 水 道 事 業

1 業務実績

令和6年度末の水洗化戸数は、前年度に比べ 127 戸 (0.37%) 増加し、3 万 4,474 戸となり、水洗化人口は、6 万 9,626 人で前年度に比べ 527 人 (0.75%) 減少している。

また、総人口 7 万 4,009 人に対する供用開始区域内人口は 7 万 666 人で、人口普及率は 95.48% となり前年度に比べ 0.11 ポイント増加しており、供用開始区域内における水洗化人口の普及状況をみると、水洗化率は 98.53% となっている。

総処理水量は、前年度に比べ 5 万 6,421 m³ (0.29%) 増加し、1,962 万 9,567 m³ となっている。これは、予算に定められた年間処理水量 1,941 万 900 m³ の 101.13% である。

一方、損益についてみると、汚水処理水量 1 m³当たりでは 11.93 円の損失となっているが、収支差引は 3 億 4,456 万 89 円の純利益となっている。

業務実績を前年度と比較すると、次のとおりである。

<業務実績の前年度比較>

項目	令和6年度	令和5年度	増減	摘要
総世帯数(世帯)	36,798	36,712	86	年度末現在
総人口(人)①	74,009	74,704	△695	〃
供用開始区域内人口(人)②	70,666	71,247	△581	〃
供用開始区域内戸数(戸)	35,013	34,891	122	〃
水洗化人口(人)③	69,626	70,153	△527	令和6年度予算に定めた処理人口 71,500人
水洗化戸数(戸)	34,474	34,347	127	令和6年度予算に定めた処理戸数 35,460戸
人口普及率(%)	95.48	95.37	0.11	$\frac{\text{②}}{\text{①}} \times 100$
水洗化率(%)	98.53	98.46	0.07	$\frac{\text{③}}{\text{②}} \times 100$
年間総処理水量(m³)④	19,629,567	19,573,146	56,421	令和6年度予算に定めた 年間処理水量 19,410,900m³
年間有収水量(m³)⑤	12,849,291	12,856,233	△6,942	
有収水量率(%)	65.46	65.68	△0.22	$\frac{\text{⑤}}{\text{④}} \times 100$
職員数(人)	32	34	△2	年度末現在
汚水処理原価(円)	158.91	146.94	11.97	$\frac{\text{汚水処理費}}{\text{年間有収水量}}$
使用料単価(円)	146.98	147.01	△0.03	$\frac{\text{使用料収入}}{\text{年間有収水量}}$
汚水処理水量1m³当たりの損益(円)	△11.93	0.07	△12.00	使用料単価 - 汚水処理原価

有収水量率は65.46%で、前年度と比べ0.22ポイント下回っている。

また、汚水処理水量1m³当たりの使用料単価は0.03円減少し146.98円、汚水処理原価は11.97円増加し158.91円となっている。その結果、汚水処理水量1m³当たりの損益としては11.93円の損失となり、前年度に比べ12.00円下回っている。

年間総処理水量に対する効率を年度別に比較すると、次のとおりである。

＜年間総処理水量等の年度別比較＞

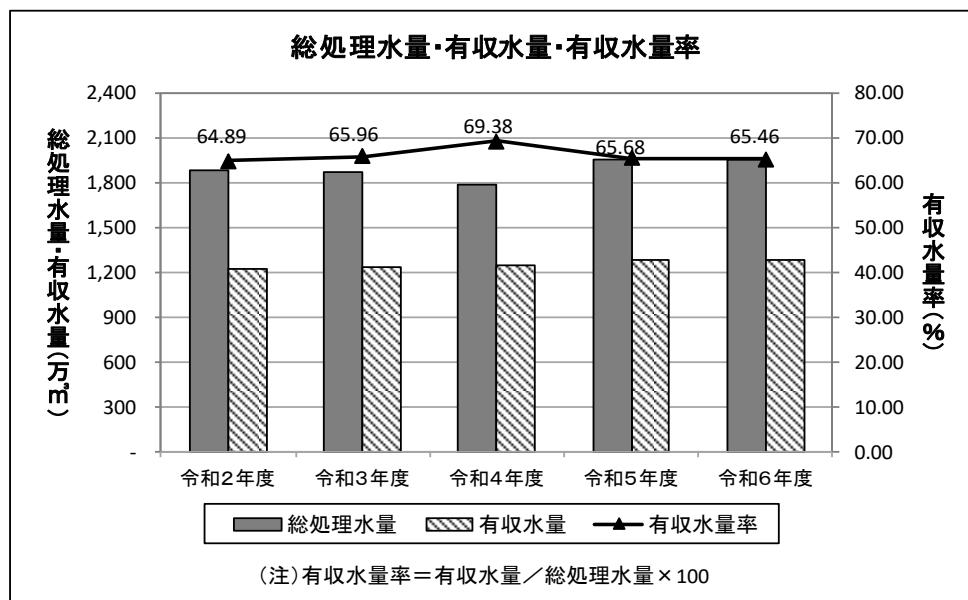
(単位: m³・%)

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和6年度対令和5年度 比較増減	
				増減率	
年間総処理水量	19,629,567	19,573,146	17,942,999	56,421	0.29
年間有収水量	12,849,291	12,856,233	12,449,375	△6,942	△0.05
有収水量率	65.46	65.68	69.38	△0.22	△0.33

年間総処理水量は、前年度と比べ5万6,421m³(0.29%)増加している。

年間有収水量は1,284万9,291m³で、前年度より6,942m³(0.05%)減少し、年間総処理水量に対する割合(有収水量率)は65.46%で、前年度より0.22ポイント下回っている。

最近5か年の年間総処理水量などの推移をグラフに示すと、次の図のとおりである。



年間総処理水量に対する年間有収水量の比率を示す有収水量率については、年間有収水量の減少に対し、年間総処理水量は増加しているため、前年度と比較して下降している。

2 予算執行状況について（消費税及び地方消費税を含む。）

(1) 収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

<収益的収入>

(単位:円・%)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に対する 決算割合			
			構成比率					
	6 年度	5 年度	(うち仮受消費税 及び地方消費税)	6 年度	5 年度			
事 業 収 益	5,241,593,000	100.00	100.00	4,974,349,645	100.00	100.00	94.90	97.46
営 業 収 益	2,666,535,000	50.87	53.21	2,674,832,940 (192,039,563)	53.77	53.76	100.31	98.47
営業外収益	2,575,058,000	49.13	46.79	2,299,516,705 (52,501)	46.23	46.23	89.30	96.30
特 別 利 益	-	-	0.01	-	-	0.01	-	98.99

予算額に対する決算割合は 94.90%となり、前年度に比べ 2.56 ポイント下回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

<収益的支出>

(単位:円・%)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に対する 決算割合			
			構成比率					
	6 年度	5 年度	(うち仮払消費税 及び地方消費税)	6 年度	5 年度			
事 業 費 用	4,664,654,000	100.00	100.00	4,490,912,617	100.00	100.00	96.28	93.96
営 業 費 用	4,371,160,000	93.71	93.73	4,248,591,965 (147,564,516)	94.60	93.91	97.20	94.15
営業外費用	286,549,000	6.14	6.06	242,320,652 (838,656)	5.40	6.03	84.57	93.45
特 別 損 失	345,000	0.01	0.07	0	-	0.06	-	83.86
予 備 費	6,600,000	0.14	0.14	0	-	-	-	-

予算額に対する決算割合は 96.28%で、前年度に比べ 2.32 ポイント上回っている。

(2) 資本的収支

資本的収支の予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

<資本的収支>

(単位:円・%)

科 目	予 算 額			決 算 額			予算額に対する 決算割合	
	(うち前年度 予算繰越額)		構成比率	(うち仮受・仮払消費税 及び地方消費税)		構成比率		
	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
資本的収入	7,297,503,000 (1,258,884,000)	100.00	100.00	3,374,199,956	100.00	100.00	46.24	60.87
企 業 債	3,850,200,000 (632,400,000)	52.76	54.39	1,846,300,000	54.72	52.83	47.95	59.13
負 担 金	137,958,000	1.89	5.14	138,150,206	4.09	4.99	100.14	59.17
補 助 金	3,221,970,000 (620,484,000)	44.15	39.63	1,366,531,600	40.50	40.95	42.41	62.90
分 担 金 及 び 負 担 金	4,110,000	0.06	0.06	5,913,163	0.18	0.20	143.87	195.87
工 事 負 担 金	82,800,000 (6,000,000)	1.13	0.78	17,304,987	0.51	1.01	20.90	79.50
固 定 資 産 売 却 代 金	465,000	0.01	0.01	0	-	0.01	-	100.12
資本的支出	8,864,336,000 (1,258,990,000)	100.00	100.00	4,902,016,124	100.00	100.00	55.30	72.84
建設改良費	7,101,815,556 (1,258,990,000)	80.12	71.58	3,139,798,680 (271,889,938)	64.05	60.98	44.21	62.05
企業債償還金	1,762,217,444	19.88	28.42	1,762,217,444	35.95	39.02	100.00	100.00
補助金返還金	303,000	0.00	0.00	0	-	0.00	-	99.91
収支不足額	△ 1,566,833,000	-	-	△ 1,527,816,168	-	-	97.51	106.99

補 てん 財 源	損益勘定留保資金	1,071,045,000	68.36	69.49	1,059,289,719	69.33	67.70	98.90	104.23
	減債積立金	330,000,000	21.06	21.27	330,000,000	21.60	19.88	100.00	100.00
	消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	165,788,000	10.58	9.23	138,526,449	9.07	7.01	83.56	81.18
	引継金	-	-	-	-	-	4.47	-	皆増
	引継未収金	-	-	-	-	-	0.93	-	皆増
	計	1,566,833,000	100.00	100.00	1,527,816,168	100.00	100.00	97.51	106.99

決算額における資本的収入額は33億7,419万9,956円、資本的支出額は49億201万6,124円で、収支不足額15億2,781万6,168円は、補てん財源の損益勘定留保資金10億5,928万9,719円と減債積立金3億3,000万円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額1億3,852万6,449円で補てんされている。

なお、資本的支出のうち建設改良費は、翌年度に予算繰越をしているため、予算額に対する決算割合が44.21%となり、前年度に比べ17.84ポイント下回っている。

3 経営状況(損益収支)について (消費税及び地方消費税を除く。)

(1) 収益について

総収益は、47億4,794万150円で、内訳は次のとおりである。

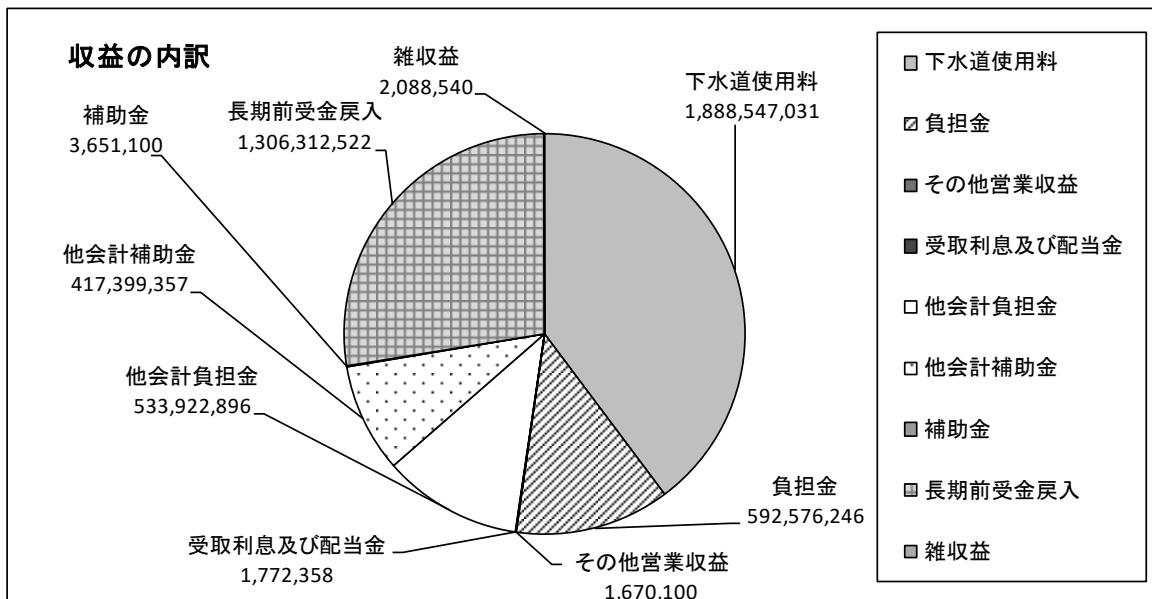
< 収 益 >

(単位：円・%)

科 目	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和6年度対令和5年度 比較増減	増減率
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率		
営業収益	2,482,793,377	52.29	2,418,312,559	52.03	2,314,841,216	62.30	64,480,818	2.67
下水道使用料	1,888,547,031	39.78	1,889,983,041	40.67	1,778,966,325	47.88	△1,436,010	△0.08
負担金	592,576,246	12.48	526,819,618	11.34	534,268,491	14.38	65,756,628	12.48
その他営業収益	1,670,100	0.04	1,509,900	0.03	1,606,400	0.04	160,200	10.61
営業外収益	2,265,146,773	47.71	2,229,027,554	47.96	1,400,853,767	37.70	36,119,219	1.62
受取利息及び配当金	1,772,358	0.04	686,884	0.01	517,609	0.01	1,085,474	158.03
他会計負担金	533,922,896	11.25	633,836,607	13.64	265,600,819	7.15	△99,913,711	△15.76
他会計補助金	417,399,357	8.79	256,160,595	5.51	111,195,340	2.99	161,238,762	62.94
補助金	3,651,100	0.08	2,678,570	0.06	1,364,600	0.04	972,530	36.31
長期前受金戻入	1,306,312,522	27.51	1,307,522,680	28.13	1,021,075,241	27.48	△1,210,158	△0.09
雑収益	2,088,540	0.04	28,142,218	0.61	1,100,158	0.03	△26,053,678	△92.58
特別利益	-	-	277,170	0.01	-	-	△277,170	皆減
固定資産売却益	-	-	277,170	0.01	-	-	△277,170	皆減
総収益	4,747,940,150	100.00	4,647,617,283	100.00	3,715,694,983	100.00	100,322,867	2.16

営業収益の76.07%を占めている下水道使用料は、前年度と比較すると143万6,010円(0.08%)減少している。負担金は、市費で負担すべき費用として一般会計等より繰り入れられており、雨水処理分が5億6,021万5,836円、し尿投入分が590万5,321円、浄化槽汚泥処理分が1,750万790円、農業集落排水施設汚泥処理分が895万4,299円となっている。

営業外収益は、3,611万9,219円(1.62%)増加している。その主な要因は、前年度に比べて他会計負担金、雑収益が減少したものの、他会計補助金が増加したためである。



(2) 費用について

総費用は44億338万61円で、内訳は次のとおりである。

< 費用 >

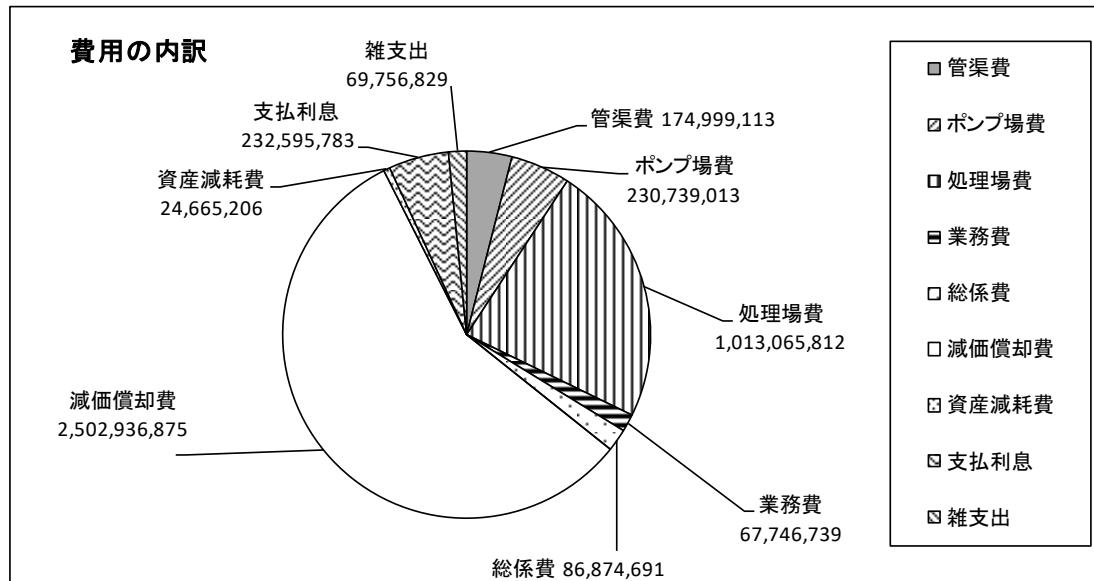
(単位：円・%)

科 目	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和6年度対令和5年度 比較増減	増減率
	金額	構成 比率	金額	構成 比率	金額	構成 比率		
営業費用	4,101,027,449	93.13	3,982,376,806	92.68	3,179,758,859	92.45	118,650,643	2.98
管 渠 費	174,999,113	3.97	158,197,832	3.68	106,566,378	3.10	16,801,281	10.62
ポンプ場費	230,739,013	5.24	164,427,869	3.83	158,668,424	4.61	66,311,144	40.33
処理場費	1,013,065,812	23.01	970,478,169	22.58	779,319,765	22.66	42,587,643	4.39
業務費	67,746,739	1.54	71,723,492	1.67	69,730,329	2.03	△ 3,976,753	△ 5.54
総係費	86,874,691	1.97	86,933,187	2.02	83,681,616	2.43	△ 58,496	△ 0.07
減価償却費	2,502,936,875	56.84	2,522,263,652	58.70	1,921,505,308	55.87	△ 19,326,777	△ 0.77
資産減耗費	24,665,206	0.56	8,352,605	0.19	60,287,039	1.75	16,312,601	195.30
営業外費用	302,352,612	6.87	311,977,726	7.26	259,502,185	7.55	△ 9,625,114	△ 3.09
支 払 利 息	232,595,783	5.28	244,709,781	5.69	208,847,817	6.07	△ 12,113,998	△ 4.95
雑 支 出	69,756,829	1.58	67,267,945	1.57	50,654,368	1.47	2,488,884	3.70
特別損失	-	-	2,706,096	0.06	-	-	△ 2,706,096	皆減
その他特別損失	-	-	2,706,096	0.06	-	-	△ 2,706,096	皆減
総費用	4,403,380,061	100.00	4,297,060,628	100.00	3,439,261,044	100.00	106,319,433	2.47

営業費用は、前年度に比べ1億1,865万643円(2.98%)増加し、41億102万7,449円となってい
る。主な営業費用は、減価償却費の25億293万6,875円、処理場費の10億1,306万5,812円で、
営業費用全体の85.73%を占めている。

営業外費用は、対前年度比較で962万5,114円(3.09%)減少し、3億235万2,612円となっ
ている。これは主に、支払利息が1,211万3,998円(4.95%)減少したことによるものである。

総費用では、1億631万9,433円(2.47%)の増加となっている。



費用を性質別に分類して、前年度と比較すると、次のとおりである。

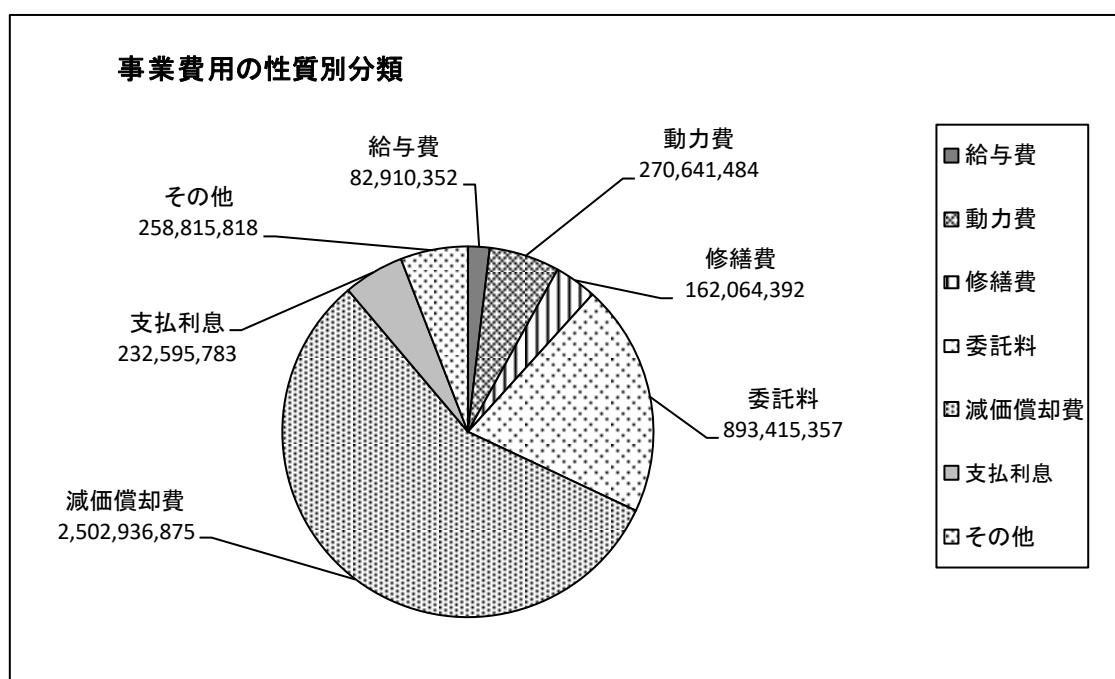
＜性質別に分類した事業費用の年度別比較＞

(単位:円・%)

性質別分類	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和6年度対令和5年度 比較増減	増減率
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率		
給与費	82,910,352	1.88	79,486,044	1.85	73,365,569	2.13	3,424,308	4.31
動力費	270,641,484	6.15	251,720,655	5.86	246,906,016	7.18	18,920,829	7.52
修繕費	162,064,392	3.68	182,685,566	4.25	175,049,536	5.09	△ 20,621,174	△ 11.29
委託料	893,415,357	20.29	796,268,220	18.53	582,234,660	16.93	97,147,137	12.20
減価償却費	2,502,936,875	56.84	2,522,263,652	58.70	1,921,505,308	55.87	△ 19,326,777	△ 0.77
支払利息	232,595,783	5.28	244,709,781	5.69	208,847,817	6.07	△ 12,113,998	△ 4.95
(うち企業債利息)	(231,058,140)	(5.25)	(244,059,781)	(5.68)	(208,771,599)	(6.07)	(△13,001,641)	(△5.33)
その他の	258,815,818	5.88	219,926,710	5.12	231,352,138	6.73	38,889,108	17.68
合計	4,403,380,061	100.00	4,297,060,628	100.00	3,439,261,044	100.00	106,319,433	2.47

(注)給与費は、給料、手当等、報酬、法定福利費、賞与引当金繰入額である。

前年度に比べ増加した主なものは、委託料、動力費である。また、減少した主なものは修繕費である。



4 財政状況(貸借対照表)について

(1) 資産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜資産の前年度比較＞

(単位:円)

区分	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	59,506,519,811	59,128,276,627	378,243,184
有形固定資産	59,451,654,517	59,075,040,064	376,614,453
無形固定資産	4,514,632	2,970,224	1,544,408
投資その他の資産	50,350,662	50,266,339	84,323
流動資産	988,665,573	1,465,801,691	△477,136,118
現金預金	706,502,217	1,173,507,484	△467,005,267
未収金	271,966,810	280,506,525	△8,539,715
貸倒引当金	△3,059,720	△3,636,145	576,425
貯蔵品	12,931,656	13,559,321	△627,665
前払金	-	1,000,000	皆減
その他流動資産	324,610	864,506	△539,896
資産合計	60,495,185,384	60,594,078,318	△98,892,934

資産は、前年度に比べ9,889万2,934円減少している。

固定資産は、前年度に比べ3億7,824万3,184円(0.64%)増加している。その主な要因は、汚泥処理施設再構築事業などに係る建設仮勘定の増などにより、有形固定資産が3億7,661万4,453円増加したことによるものである。また、流動資産は、前年度に比べ4億7,713万6,118円(32.55%)減少しており、その主な要因は、現金預金が減少したことによるものである。

貯蔵品のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

有形固定資産現在高の増減状況は、次のとおりである。

<有形固定資産現在高の増減状況>

(単位:円)

項目	増加したもの		減少したもの		増減
	金額	説明	金額	説明	
建物	1,254,518	建物付属設備 1,254,518	342,541	建物付属設備 342,541	911,977
構築物	597,985,238	排水施設 544,674,925 同(受贈財産) 37,850,000 ポンプ場施設 15,460,313	2,229,750	排水施設 2,229,750	595,755,488
機械及び装置	308,847,807	電気設備 197,681,154 内燃設備 2,200,000 ポンプ設備 44,733,984 その他機械装置 64,232,669	73,540,421	電気設備 28,585,890 ポンプ設備 3,224,361 滅菌設備 26,107 その他機械装置 41,704,063	235,307,386
工具、器具及び備品	2,732,928	工具、器具及び備品 2,732,928	2,056,000	工具、器具及び備品 2,056,000	676,928
建設仮勘定	2,869,302,354	未供用資産 2,869,302,354	876,609,103	供用開始による振替 876,609,103	1,992,693,251
計	3,780,122,845	-	954,777,815	-	2,825,345,030

有形固定資産の差引増加額は、28億2,534万5,030円である。

年度末における有形固定資産の現在高は858億5,869万9,956円で減価償却累計額264億704万5,439円を控除すると当年度末の償却未済高は594億5,165万4,517円である。

消滅時効により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

<不納欠損処分の内訳>

債 権 名	人數(人)	件数(件)	金額(円)	理由別内訳			
下水道使用料	207	625	2,139,572	生活困窮	7人	15件	18,113円
				破産等	3人	5件	12,864円
				無財産	197人	605件	2,108,595円
計	207	625	2,139,572				

当年度の時効による不納欠損は、前年度に比べ 59 人 38 件増加し、金額は 80 万 2,277 円減少している。

(2) 負債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

<固定負債の前年度比較>

(単位:円)

科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増 減
企 業 債	18,886,550,577	18,753,992,157	132,558,420
計	18,886,550,577	18,753,992,157	132,558,420

固定負債は企業債のみであり、前年度に比べ 1 億 3,255 万 8,420 円 (0.71%) 増加し、188 億 8,655 万 577 円となっている。

これは、翌年度の償還額 17 億 1,374 万 1,580 円が流動負債に振り替えられたが、新規の企業債借入れが 18 億 4,630 万円となったことによるものである。

流動負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜流動負債の前年度比較＞

(単位:円)

科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増 減
企 業 債	1,713,741,580	1,762,217,444	△48,475,864
未 払 金	379,860,480	1,026,881,903	△647,021,423
預 り 金	74,466,116	81,788,616	△7,322,500
引 当 金	20,504,899	19,770,566	734,333
その他の流動負債	324,610	792,110	△467,500
計	2,188,897,685	2,891,450,639	△702,552,954

流動負債は、前年度に比べ 7 億 255 万 2,954 円 (24.30%) 減少し、21 億 8,889 万 7,685 円となつていて。これは主に、未払金が 6 億 4,702 万 1,423 円 (63.01%)、企業債が 4,847 万 5,864 円 (2.75%) 減少ししたことによるものである。

繰延収益を前年度と比較すると、次のとおりである。

＜繰延収益の前年度比較＞

(単位:円)

科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増 減
長 期 前 受 金	42,722,397,774	41,331,036,856	1,391,360,918
長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△13,480,416,815	△12,212,800,598	△1,267,616,217
計	29,241,980,959	29,118,236,258	123,744,701

繰延収益は、前年度に比べ 1 億 2,374 万 4,701 円 (0.42%) 増加し、292 億 4,198 万 959 円となっている。長期前受金は前年度に比べ 13 億 9,136 万 918 円 (3.37%) 増加しており、その主な要因は、国府補助金長期前受金が増加したことによるものである。長期前受金収益化累計額は、前年度に比べ 12 億 6,761 万 6,217 円 (10.38%) 減少している。

(3) 資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

<資本金の前年度比較>

(単位:円)

科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増 減
資 本 金	8,916,413,464	8,576,413,464	340,000,000
自 己 資 本 金	8,916,413,464	8,576,413,464	340,000,000
固 有 資 本 金	7,846,413,464	7,846,413,464	0
組 入 資 本 金	1,070,000,000	730,000,000	340,000,000

資本金は、前年度に比べ 3 億 4,000 万円(3.96%)増加し、89 億 1,641 万 3,464 円となっている。これは、組入資本金が、未処分利益剰余金からの組み入れにより 3 億 4,000 万円(46.58%)増加したことによるものである。

(4) 剰余金

剰余金を前年度と比較すると、次のとおりである。

<剰余金の前年度比較>

(単位:円)

科 目	令和 6 年度	令和 5 年度	増 減
剩 余 金	1,261,342,699	1,253,985,800	7,356,899
資 本 剰 余 金	274,375,565	271,578,755	2,796,810
受 贈 財 産 評 価 額	120,936,115	120,936,115	0
国 府 補 助 金	119,787,764	119,787,764	0
分 担 金 及 び 負 担 金	2,077,140	-	皆増
そ の 他 資 本 剰 余 金	31,574,546	30,854,876	719,670
利 益 剰 余 金	986,967,134	982,407,045	4,560,089
減 債 積 立 金	312,407,045	291,850,390	20,556,655
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	674,560,089	690,556,655	△15,996,566

(注) 令和 5 年度 「その他資本剰余金」には分担金及び負担金を含む。

剰余金は、前年度に比べ 735 万 6,899 円(0.59%)増加し、12 億 6,134 万 2,699 円となっている。これは、資本剰余金が 279 万 6,810 円(1.03%)、利益剰余金が 456 万 89 円(0.46%)増加したことによるものである。

5 キャッシュ・フローについて

<キャッシュ・フローの状況>

(単位:円)

区分	金額
A 資金期首残高	1,173,507,484
① 業務活動によるキャッシュ・フロー	1,476,570,476
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,157,438,442
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	213,862,699
B 資金増減額 (①+②+③)	△467,005,267
C 資金期末残高 (A+B)	706,502,217

キャッシュ・フロー計算書の資金期末残高は、貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

6 むすび

令和6年度の下水道事業会計は、総収益が47億4,794万150円、総費用は44億338万61円となり、平成28年度以降9年連続の黒字決算3億4,456万89円の当年度純利益を計上した。

業務実績をみると、供用開始区域内人口は7万666人となり、前年度に比べ581人(0.82%)減少している。同区域内の水洗化人口は、527人(0.75%)減の6万9,626人となったが、水洗化率は前年度比0.07ポイント増の98.53%となった。年間総処理水量は1,962万9,567m³で、前年度に比べ5万6,421m³(0.29%)増加したが、年間有収水量は1,284万9,291m³で前年度と比較し6,942m³(0.05%)減少している。

施設整備関係においては、市街地の浸水対策として雨水排水路新設工事、地震対策として耐震化工事、脱炭素化推進事業として汚泥処理施設再構築事業を実施したほか、老朽化した設備の更新工事を行っている。

経営状況については、前年度と比較し、総収益は1億32万2,867円(2.16%)増加し、総費用も1億631万9,433円(2.47%)増加している。収益増の主な要因は、営業収益では負担金が前年度に比べ6,575万6,628円(12.48%)増加し、営業外収益では他会計補助金が前年度に比べ1億6,123万8,762円(62.94%)増加したことによるものである。

一方、費用増の主な要因は、労務単価や資材などの経費の高騰によりポンプ場費や処理場費などが増加したことによるものである。

汚水処理水量1m³当たりの収支でみると、前年度と比較し、汚水処理原価は158.91円で11.97円増加し、使用料単価は146.98円で0.03円減少している。1m³当たりの利益は前年度より12.00円減少したため、汚水処理原価が使用料単価を上回り、1m³当たり11.93円の損失となっている。

消滅時効に伴う下水道使用料の不納欠損処分は、207人、625件、213万9,572円で、前年度に比べ59人、38件の増加、金額では80万2,277円の減少となっている。不納欠損の理由は、生活困窮、破産等、無財産によるものであり法令に基づいた不納欠損処分が行われているが、今後とも負担の公平性を確保するため、債権管理の適正を期するとともに、新たな滞納者を発生させない早期徵収体制の強化を講じるなど、収入の確保に努めが必要である。

次に経営分析から見た経営の状況は以下のとおりである。

- ① 流動比率については、一年間の支払い能力を示し安全性を判断する指標であり、100%以上であることが必要であるとされている。本年度は、前年度に比べ5.52ポイント低下し45.17%となっている。
- ② 固定資産回転率については、固定資産がどの程度経営活動に有効活用されたかを判断する指標として大きいほど良いとされている。本年度は、前年度に比べ0.004回減少し0.042回となっている。

- ③ 固定長期適合率は、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示すもので、100%以下が健全とされている。本年度は、前年度に比べ 0.41 ポイント向上し 102.06%となっている。
- ④ 経費回収率は、汚水処理に係る費用が使用料でどの程度賄われているかを示すものであり、100%以上が求められている。下水道経営は、経費の負担区分を踏まえ汚水処理に係る費用については使用料で賄うことが基本原則とされている。本年度は、前年度に比べ 7.56 ポイント低下し 92.49%となっている。

(参考資料)

$\textcircled{1} \text{ 流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">令和 6 年度</th><th style="text-align: center;">令和 5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">45.17%</td><td style="text-align: center;">50.69%</td></tr> </tbody> </table>	令和 6 年度	令和 5 年度	45.17%	50.69%
令和 6 年度	令和 5 年度				
45.17%	50.69%				
$\textcircled{2} \text{ 固定資産回転率} = \frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期末固定資産} + \text{期首固定資産}) \div 2}$	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">令和 6 年度</th><th style="text-align: center;">令和 5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0.042回</td><td style="text-align: center;">0.046回</td></tr> </tbody> </table>	令和 6 年度	令和 5 年度	0.042回	0.046回
令和 6 年度	令和 5 年度				
0.042回	0.046回				
$\textcircled{3} \text{ 固定長期適合率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ <p style="text-align: center;">(自己資本 = 自己資本金 + 剰余金)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">令和 6 年度</th><th style="text-align: center;">令和 5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">102.06%</td><td style="text-align: center;">102.47%</td></tr> </tbody> </table>	令和 6 年度	令和 5 年度	102.06%	102.47%
令和 6 年度	令和 5 年度				
102.06%	102.47%				
$\textcircled{4} \text{ 経費回収率} = \frac{\text{使用料収入}}{\text{汚水処理費}} \times 100$	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">令和 6 年度</th><th style="text-align: center;">令和 5 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">92.49%</td><td style="text-align: center;">100.05%</td></tr> </tbody> </table>	令和 6 年度	令和 5 年度	92.49%	100.05%
令和 6 年度	令和 5 年度				
92.49%	100.05%				

当年度の下水道事業は、管渠、ポンプ場、処理場など施設の適正な維持管理や浸水対策、地震対策及び老朽化した施設の更新事業が計画的に実施されている。また、下水道施設の脱炭素化を図る汚泥処理施設再構築事業についても実施されているところである。

経営状況については、令和5年度に農業集落排水施設事業の法適用により下水道事業に組み入れられ、経営分析に用いる数値が下振れしたところではあるが、令和6年度においても純利益の確保がされ、全体的に健全な経営がなされているものと認められる。

しかしながら、今後においても人口減少に伴う下水道使用料の減少や管渠・ポンプ施設などの老朽化による施設の点検、更新経費、また耐震化をはじめ防災・減災を目的とした施設整備に係る費用の増加や物価の高騰、労務単価の上昇など、厳しい経営環境に変わりはない。

このような中で、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水施設事業で構成される下水道事業会計は、それぞれの現状と今後の情勢を的確に見据えつつ、福知山市下水道ビジョンに基づき、ストックマネジメントの推進による計画的で着実な施設更新と維持管理を行うとともに、引き続き収入確保や費用抑制の取り組みを推進し、安心・安全を未来へつなぐ下水道をめざして、さらに下水道事業経営戦略により、総合的な財政マネジメントの向上を図り、経営基盤の強化に努め

られたい。

下水道は市民に衛生的で安心・安全かつ快適な暮らしを届けるために欠かすことのできない重要な基幹的インフラである。今後とも、安心・安全な下水道サービスが将来にわたって安定的に提供されるとともに、災害に強い下水道の基盤整備が一層進むことを望むものである。

1 損益計算書構成並びにすう勢比率表

(注) すう勢比率は、令和4年度を100%とする。

科 目	金 額	借 方			貸 方			構 成 比 率 %	すう勢 比 率 %	構 成 比 率 %	すう勢 比 率 %
		令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度				
1 営 業 費 用	4,101,027,449	93.13	92.68	128.97	125.24	1 営 業 収 益	2,482,793,377	52.29	52.03	107.26	104.47
(1) 管 渠 費	174,999,113	3.97	3.68	164.22	148.45	(1) 下水道使用料	1,888,547,031	39.78	40.67	106.16	106.24
(2) ポンプ場費	230,739,013	5.24	3.83	145.42	103.63	(2) 負 担 金	592,576,246	12.48	11.34	110.91	98.61
(3) 処理場費	1,013,065,812	23.01	22.58	129.99	124.53	(3) その他営業収益	1,670,100	0.04	0.03	103.97	93.99
(4) 業 務 費	67,746,739	1.54	1.67	97.16	102.86	2 営 業 外 収 益	2,265,146,773	47.71	47.96	161.70	159.12
(5) 総 係 費	86,874,691	1.97	2.02	103.82	103.89	(1) 受 取 利 息 (2) 配 当 金	1,772,358	0.04	0.01	342.41	132.70
(6) 減価償却費	2,502,936,875	56.84	58.70	130.26	131.26	(2) 他会計負担金	533,922,896	11.25	13.64	201.02	238.64
(7) 資産減耗費	24,665,206	0.56	0.19	40.91	13.85	(3) 他会計補助金	417,399,357	8.79	5.51	375.37	230.37
2 営 業 外 費 用	302,352,612	6.87	7.26	116.51	120.22	(4) 補 助 金	3,651,100	0.08	0.06	267.56	196.29
(1) 支 払 利 息	232,595,783	5.28	5.69	111.37	117.17	(5) 長期前受金戻入	1,306,312,522	27.51	28.13	127.93	128.05
(2) 雑 支 出	69,756,829	1.58	1.57	137.71	132.80	(6) 雜 収 益	2,088,540	0.04	0.61	189.84	2,558.02
3 特 別 損 失	-	-	0.06	-	-	3 特 別 利 益	-	-	0.01	-	-
(1) その他の特別損失	-	-	0.06	-	-	(1) 固定資産売却益	-	-	0.01	-	-
小 計	4,403,380,061	100.00	100.00	128.03	124.94						
当 年 度 純 利 益	344,560,089	-	-	124.64	126.81						
合 計	4,747,940,150	-	-	127.78	125.08	合 計	4,747,940,150	100.00	100.00	127.78	125.08

2 貸借対照表構成並びにすう勢比率表

(注) すう勢比率は、令和4年度を100%とする。

科 目	借 方			貸 方			金 額	構 成 比 率	すう勢 比 率	金 額	構 成 比 率	すう勢 比 率
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度						
1 固 定 資 産	59,506,519,811	98.37	97.58	129.82	129.00	1 固 定 負 債	18,886,550,577	31.22	30.95	118.45	117.61	117.61
(1) 有形固定資産	59,451,654,517	98.28	97.49	129.84	129.02	(1) 企 業 債	18,886,550,577	31.22	30.95	118.45	117.61	117.61
(2) 無形固定資産	4,514,632	0.01	0.00	1,667.05	1,096.77	2 流 動 負 債	2,188,897,685	3.61	4.77	101.51	134.09	-
(3) 投資その他の資産	50,350,662	0.08	0.08	100.35	100.19	(1) 企 業 債	1,713,741,580	2.83	2.91	132.81	136.57	-
2 流 動 資 産	988,665,573	1.63	2.42	84.33	125.02	(2) 未 払 金	379,860,480	0.63	1.69	44.83	121.19	-
(1) 現 金 預 金	706,502,217	1.17	1.94	70.26	116.71	(3) 預 り 金	74,466,116	0.12	0.13	105,950.31	116,368.76	-
(2) 未 収 金	271,966,810	0.45	0.46	170.72	176.08	(4) 引 当 金	20,504,899	0.03	0.03	110.76	106.79	-
貸 倒 引 当 金	△ 3,059,720	△ 0.01	△ 0.01	-	-	(5) その他流動負債	324,610	0.00	0.00	-	-	-
(3) 貯 蔓 品	12,931,656	0.02	0.02	126.53	132.67	3 繰 延 収 益	29,241,980,959	48.34	48.05	130.73	130.18	-
(4) その他流動資産	324,610	0.00	0.00	-	-	(1) 長 期 前 受 金	42,722,397,774	70.62	68.21	128.30	124.12	-
前 払 金	-	-	0.00	-	100.00	(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△13,480,416,815	△22.28	△20.16	-	-	-
						4 資 本 金	8,916,413,464	14.74	14.15	163.78	157.54	-
						(1) 自 己 資 本 金	8,916,413,464	14.74	14.15	163.78	157.54	-
						5 剰 余 金	1,261,342,699	2.09	2.07	115.12	114.45	-
						(1) 資 本 剰 余 金	274,375,565	0.45	0.45	327.46	324.12	-
						(2) 利 益 剰 余 金	986,967,134	1.63	1.62	97.54	97.09	-
資 产 合 計	60,495,185,384	100.00	100.00	128.69	128.90	負 債 資 本 合 計	60,495,185,384	100.00	100.00	128.69	128.90	-

3 企 業 債 債 の 償 還 予 定 表

年 度	区 分	元 金	利 子	計	
				円	円
令 和 7 年 度		1,713,741,580	239,170,140		1,952,911,720
令 和 8 年 度		1,604,018,932	215,035,502		1,819,054,434
令 和 9 年 度		1,559,575,617	192,783,316		1,752,358,933
令 和 10 年 度		1,460,896,900	172,117,609		1,633,014,509
令 和 11 年 度		1,318,674,847	153,472,859		1,472,147,706
令 和 12 年 度		1,142,541,277	137,245,594		1,279,786,871
令 和 13 年 度		1,031,697,227	123,751,626		1,155,448,853
令 和 14 年 度		946,253,418	111,797,158		1,058,050,576
令 和 15 年 度		860,399,505	101,164,733		961,564,238
令 和 16 年 度		819,620,773	91,519,558		911,140,331
令和17年度～令和36年度		8,142,872,081	644,453,538		8,787,325,619
合 計		20,600,292,157	2,182,511,633		22,782,803,790

福知山市病院事業会計

病院事業

1 業務実績

令和6年度の市立福知山市民病院の年間延入院患者数は、11万2,920人で前年度に比べ3,958人(3.63%)増加し、予算に定められた業務の予定量(以下「予定量」という。)における年間延入院患者数11万1,690人を1,230人上回っている。また、1日の平均入院患者数については、309.37人で前年度に比べ11.66人増加し、予定量306.0人に対しても3.37人上回っている。大江分院の年間延入院患者数は、1万7,530人で前年度に比べ1,234人(7.57%)増加し、予定量1万7,520人に対しても10人上回っている。また、1日の平均入院患者数については、48.03人で前年度に比べ3.51人増加し、予定量48.0人に対しても0.03人上回っている。

市民病院の年間延外来患者数は、24万1,621人で前年度に比べ4,501人(1.90%)増加し、予定量23万6,925人に対しても4,696人上回っている。また、1日の平均外来患者数は、994.33人で前年度に比べ18.53人増加し、予定量975.0人に対しても19.33人上回っている。大江分院の年間延外来患者数は、1万4,676人で前年度に比べ45人(0.31%)増加し、予定量1万3,608人に対し1,068人上回っている。また、1日平均外来患者数は、60.40人で、前年度に比べ0.19人増加し、予定量56.0人に対し4.4人上回っている。

患者1人1日当たりの診療収益は、入院で市民病院が7万7,951.00円、大江分院が2万6,304.43円、外来で市民病院が2万2,544.57円、大江分院が8,240.40円、入院と外来を合わせた全体では、市民病院が4万752.75円、大江分院が1万8,101.28円となっている。また、患者1人1日当たりの医業収益は、市民病院が4万1,802.86円、大江分院が1万8,640.23円であり、その一方で患者1人1日当たりの医業費用は、市民病院が4万2,615.49円、大江分院が1万9,980.70円となっており、その損益は、市民病院が812.63円の損失、大江分院も1,340.47円の損失となっている。

業務実績を前年度と比較すると次のとおりである。

〈業務実績の前年度比較〉

項目		令和6年度	令和5年度	増減	摘要	
総世帯数(世帯)		36,798	36,712	86	年度末現在	
総人口(人)		74,009	74,704	△695	"	
病床数(床)	市民病院	353	354	△1	一般344 結核5 感染症4	
	大江分院	52	52	0	療養28 地域包括ケア24	
年間延病床数(床)	市民病院	128,845	129,564	△719	353床×365日	
	大江分院	18,980	19,032	△52	52床×365日	
患者数	入院	市民病院 年間(人)	112,920	108,962	3,958 令和6年度予算に定めた業務予定量 111,690人	
		大江分院	17,530	16,296	" 17,520人	
		市民病院 1日平均(人)	309.37	297.71	" 306.0人	
		大江分院	48.03	44.52	" 48.0人	
	外来(注1)	市民病院 年間(人) (うち人間ドック等)	241,621 (10,932)	237,120 (10,644)	4,501 (288) " 236,925人 診療日数 243日	
		大江分院	14,676 (93)	14,631 (91)	45 (2) " 13,608人 診療日数 243日	
		市民病院 1日平均(人)	994.33	975.80	18.53 " 975.0人	
		大江分院	60.40	60.21	0.19 " 56.0人	
	計	市民病院 年計(人)	354,541	346,082	8,459	
		大江分院	32,206	30,927	1,279	
病床利用率(%)		市民病院	87.64	84.10	3.54	
		大江分院	92.36	85.62	6.74	
職員数(人)		市民病院	812	791	21	
		大江分院	70	65	5	
患者1人1日当たり診療収益	入院(円)	市民病院	77,951.00	78,655.08	△704.08	
		大江分院	26,304.43	25,849.28	455.15	
	外来(円)	市民病院	22,544.57	23,029.63	△485.06	
		大江分院	8,240.40	8,431.75	△191.35	
	入院・外来(円)	市民病院	40,752.75	41,098.72	△345.97	
		大江分院	18,101.28	17,636.45	464.83	
患者1人1日当たり医業収益(円)		市民病院	41,802.86	42,139.30	△336.44	
		大江分院	18,640.23	18,153.75	486.48	
患者1人1日当たり医業費用(円)		市民病院	42,615.49	41,543.63	1,071.86	
		大江分院	19,980.70	20,215.50	△234.80	

(注1)年間患者数のうち、令和5年度は新型コロナワクチン接種者数を除く。(市民病院1,765人、大江分院1,353人)

(注2)患者1人1日当たり診療収益における年間延外来患者数は人間ドック等検診者を除く。

(1)患者数の状況

① 入院患者数の状況

〈診療科別入院患者数の年度別比較〉

診療科	令和6年度 (診療日数365日)			令和5年度 (診療日数366日)			令和4年度 (診療日数365日)			(単位:人・%)
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	
内科	8,440	23.12	7.47	7,755	21.19	7.12	7,211	19.76	6.41	
呼吸器内科	7,479	20.49	6.62	4,803	13.12	4.41	4,350	11.92	3.87	
消化器内科	11,757	32.21	10.41	8,797	24.04	8.07	9,458	25.91	8.40	
循環器内科	5,939	16.27	5.26	6,960	19.02	6.39	7,136	19.55	6.34	
血液内科	12,067	33.06	10.69	12,653	34.57	11.61	12,583	34.47	11.18	
腫瘍内科	5,706	15.63	5.05	6,878	18.79	6.31	7,992	21.90	7.10	
腎臓内科	1,175	3.22	1.04	1,151	3.14	1.06	771	2.11	0.69	
糖尿病内科	917	2.51	0.81	738	2.02	0.68	752	2.06	0.67	
膠原病内科	1,566	4.29	1.39	-	-	-	-	-	-	
小児科	2,751	7.54	2.44	3,120	8.52	2.86	2,677	7.33	2.38	
外科	-	-	-	8,492	23.20	7.79	6,829	18.71	6.07	
呼吸器外科	2,515	6.89	2.23	-	-	-	-	-	-	
消化器外科	4,847	13.28	4.29	-	-	-	-	-	-	
乳腺外科	750	2.05	0.66	-	-	-	-	-	-	
整形外科	14,351	39.32	12.71	15,102	41.26	13.86	16,939	46.41	15.05	
形成外科	-	-	-	0	-	-	374	1.02	0.33	
脳神経外科	5,496	15.06	4.87	6,740	18.42	6.19	6,649	18.22	5.91	
小児外科	50	0.14	0.04	77	0.21	0.07	35	0.10	0.03	
皮膚科	931	2.55	0.82	1,072	2.93	0.98	848	2.32	0.75	
泌尿器科	3,812	10.44	3.38	3,732	10.20	3.43	3,817	10.46	3.39	
産婦人科	3,958	10.84	3.51	3,014	8.23	2.77	4,162	11.40	3.70	
眼科	1,084	2.97	0.96	1,003	2.74	0.92	1,133	3.10	1.01	
耳鼻いんこう科	2,729	7.48	2.42	2,215	6.05	2.03	2,466	6.76	2.19	
放射線科	25	0.07	0.02	56	0.15	0.05	17	0.05	0.02	
リハビリテーション科	14,065	38.53	12.46	14,390	39.32	13.21	15,034	41.19	13.36	
救急科	510	1.40	0.45	214	0.58	0.20	1,309	3.59	1.16	
計	112,920	309.37	100.00	108,962	297.71	100.00	112,542	308.33	100.00	

診療科	令和6年度 (診療日数365日)			令和5年度 (診療日数366日)			令和4年度 (診療日数365日)			(単位:人・%)
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	
内科	17,530	48.03	100.00	16,296	44.52	100.00	16,761	45.92	100.00	
計	17,530	48.03	100.00	16,296	44.52	100.00	16,761	45.92	100.00	

② 外来患者数の状況

〈診療科別外来患者数の年度別比較〉

[市民病院]

(単位:人・%)

診 療 科	令和6年度 (診療日数243日)			令和5年度 (診療日数243日)			令和4年度 (診療日数243日)		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内 科	20,115	82.78	8.33	80,441	331.03	33.92	83,081	341.90	34.56
呼吸器内科	7,155	29.44	2.96	-	-	-	-	-	-
消化器内科	23,695	97.51	9.81	-	-	-	-	-	-
循環器内科	7,950	32.72	3.29	-	-	-	-	-	-
血液内科	8,146	33.52	3.37	-	-	-	-	-	-
腫瘍内科	3,602	14.82	1.49	-	-	-	-	-	-
腎臓内科	3,184	13.10	1.32	-	-	-	-	-	-
糖尿病内科	6,692	27.54	2.77	-	-	-	-	-	-
膠原病内科	4,743	19.52	1.96	-	-	-	-	-	-
精神神経科	7,739	31.85	3.20	7,725	31.79	3.26	8,043	33.10	3.35
脳神経内科	4,604	18.95	1.91	4,332	17.83	1.83	4,202	17.29	1.75
小児科	14,175	58.33	5.87	14,776	60.81	6.23	14,813	60.96	6.16
外 科	-	-	-	13,679	56.29	5.77	12,868	52.95	5.35
呼吸器外科	2,020	8.31	0.84	-	-	-	-	-	-
消化器外科	4,810	19.79	1.99	-	-	-	-	-	-
乳腺外科	4,974	20.47	2.06	-	-	-	-	-	-
整形外科	26,236	107.97	10.86	27,380	112.67	11.55	25,924	106.68	10.78
形成外科	790	3.25	0.33	923	3.80	0.39	1,928	7.93	0.80
脳神経外科	4,751	19.55	1.97	5,003	20.59	2.11	4,980	20.49	2.07
心臓血管外科	450	1.85	0.19	406	1.67	0.17	386	1.59	0.16
小児外科	953	3.92	0.39	1,019	4.19	0.43	1,042	4.29	0.43
皮膚科	9,330	38.40	3.86	10,170	41.85	4.29	10,085	41.50	4.20
泌尿器科	27,812	114.45	11.51	27,498	113.16	11.60	27,858	114.64	11.59
産婦人科	12,619	51.93	5.22	11,589	47.69	4.89	12,546	51.63	5.22
眼 科	14,144	58.21	5.85	14,936	61.47	6.30	16,457	67.72	6.85
耳鼻いんこう科	11,588	47.69	4.80	11,029	45.39	4.65	10,595	43.60	4.41
放射線科	5,773	23.76	2.39	6,214	25.57	2.62	5,583	22.98	2.32
救急科	3,571	14.70	1.48	-	-	-	-	-	-
計	241,621	994.33	100.00	237,120	975.80	100.00	240,391	989.26	100.00

※令和4、5年度は呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・腫瘍内科・腎臓内科・糖尿病内科を内科に含む。

〔大江分院〕

診療科	令和6年度 (診療日数243日)			令和5年度 (診療日数243日)			令和4年度 (診療日数243日)		
	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率	延患者数	1日平均患者数	構成比率
内 科	13,849	56.99	94.36	13,815	56.85	94.42	13,829	56.91	93.96
小 児 科	59	0.24	0.40	74	0.30	0.51	96	0.40	0.65
リハビリテーション科	768	3.16	5.23	742	3.05	5.07	793	3.26	5.39
計	14,676	60.40	100.00	14,631	60.21	100.00	14,718	60.57	100.00

市民病院の延入院患者数で増加した主な診療科は、消化器内科、呼吸器内科、産婦人科で、減少した主な診療科は、脳神経外科、腫瘍内科、循環器内科である。延外来患者数で増加した主な診療科は、産婦人科、耳鼻いんこう科、泌尿器科で、減少した主な診療科は、整形外科、皮膚科、眼科である。

大江分院の延入院患者数については内科が増加し、延外来患者数については、内科、リハビリテーション科で増加し、小児科で減少している。

2 予算執行状況について(消費税及び地方消費税を含む。)

(1) 収益的収支

事業収益について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈収益的収入〉

(単位:円・%)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に対する 決算割合			
	構成比率		(うち仮受消費税 及び地方消費税)	構成比率		6年度	5年度	
	6年度	5年度		6年度	5年度			
事 業 収 益	16,387,476,000	100.00	100.00	16,897,458,197	100.00	100.00	103.11	100.79
市民病院事業収益	15,663,204,000	95.58	95.57	16,152,954,385	95.59	95.74	103.13	100.97
医 業 収 益	14,525,046,000	88.64	88.25	14,873,906,730 (53,077,538)	88.02	88.28	102.40	100.82
医 業 外 収 益	877,998,000	5.36	5.78	1,015,573,891 (2,729,556)	6.01	5.93	115.67	103.41
看護学校収益	86,691,000	0.53	0.52	90,004,390 (62,754)	0.53	0.52	103.82	100.41
特 別 利 益	173,469,000	1.06	1.02	173,469,374	1.03	1.01	100.00	100.00
大江分院事業収益	724,272,000	4.42	4.43	744,503,812	4.41	4.26	102.79	97.00
医 業 収 益	590,986,000	3.61	3.50	601,616,820 (1,289,698)	3.56	3.39	101.80	97.66
医 業 外 収 益	107,246,000	0.65	0.74	114,828,309 (327,029)	0.68	0.67	107.07	92.03
訪問看護収益	26,040,000	0.16	0.16	28,058,683	0.17	0.17	107.75	103.16
特 別 利 益	0	-	0.03	0	-	0.03	-	108.77

予算額に対する決算割合は、市民病院事業収益では 103.13%で、前年度に比べ 2.16 ポイント上回っており、大江分院事業収益では 102.79%で、前年度に比べ 5.79 ポイント上回っている。病院事業収益全体では 103.11%となっており、前年度に比べて 2.32 ポイント上回っている。

事業費用について、予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈収益的支出〉

(単位:円・%)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に対する 決算割合			
	構成比率		(うち仮払消費税 及び地方消費税)					
	6年度	5年度	6年度	5年度				
事 業 費 用	17,478,933,000	100.00	100.00	16,950,769,849	100.00	100.00	96.98	95.03
市民病院事業費用	16,684,351,000	95.45	95.53	16,242,652,938	95.82	95.74	97.35	95.24
医 業 費 用	15,902,242,000	90.98	90.95	15,529,448,243 (420,508,999)	91.62	91.15	97.66	95.24
医 業 外 費 用	571,269,000	3.27	3.34	553,228,470 (379,538)	3.26	3.33	96.84	94.76
看護学校費用	110,735,000	0.63	0.57	95,455,173 (1,040,851)	0.56	0.57	86.20	94.56
特 別 損 失	97,905,000	0.56	0.66	64,521,052	0.38	0.69	65.90	99.76
予 備 費	2,200,000	0.01	0.01	0	-	-	-	-
大江分院事業費用	794,582,000	4.55	4.47	708,116,911	4.18	4.26	89.12	90.60
医 業 費 用	723,829,000	4.14	4.14	655,456,904 (11,958,611)	3.87	3.93	90.55	90.25
医 業 外 費 用	7,012,000	0.04	0.03	7,961,359 (1,299)	0.05	0.03	113.54	90.46
訪問看護費用	61,241,000	0.35	0.24	43,353,011 (225,593)	0.26	0.24	70.79	97.10
特 別 損 失	1,400,000	0.01	0.06	1,345,637	0.01	0.06	96.12	99.31
予 備 費	1,100,000	0.01	0.01	0	-	-	-	-

予算額に対する決算割合は、市民病院事業費用は 97.35%で、前年度に比べ 2.11 ポイント上回っており、大江分院事業費用は 89.12%で前年度に比べ 1.48 ポイント下回っている。病院事業費用全体では 96.98%で前年度に比べ 1.95 ポイント上回っている。

(2) 資本的収支

資本的収支の予算額に対する決算額の状況は、次のとおりである。

〈資本的収支〉

(単位:円・%)

科 目	予 算 額		決 算 額		予算額に対する 決算割合	
	(うち前年度 予算繰越額)	構成比率 6年度	(うち仮受・仮払消費 税及び地方消費税)		構成比率 6年度	6年度
			5年度	6年度		
市 民 病 院 資 本 的 収 入	1,042,010,000 (64,400,000)	100.00	100.00	957,301,000	100.00	100.00
	企 業 債	490,900,000 (64,400,000)	47.11	71.78	389,600,000	40.70
	他 会 計 負 担 金	551,110,000	52.89	28.22	565,996,000	59.12
	固定資産売却代金	0	-	-	1,705,000 (155,000)	0.18
	補 助 金	-	-	-	-	0.22
	寄 付 金	-	-	-	-	5.25
市 民 病 院 資 本 的 支 出	2,509,667,500 (127,033,500)	100.00	100.00	2,289,231,408	100.00	100.00
	建 設 改 良 費	1,647,083,500 (127,033,500)	65.63	71.15	1,426,648,150 (93,331,650)	62.32
	企 業 債 償 還 金	862,584,000	34.37	28.85	862,583,258	37.68
市 民 病 院 収 支 不 足 額	△1,467,657,500	-	-	△1,331,930,408	-	-
大 江 分 院 資 本 的 収 入	35,579,000	100.00	100.00	34,488,000	100.00	100.00
	他 会 計 負 担 金	35,159,000	98.82	33.18	34,059,000	98.76
	補 助 金	420,000	1.18	-	429,000	1.24
	企 業 債	-	-	66.82	-	63.32
	固定資産売却代金	-	-	-	-	0.04
大 江 分 院 資 本 的 支 出	39,205,000	100.00	100.00	35,936,418	100.00	100.00
	建 設 改 良 費	5,716,000	14.58	71.21	2,447,500 (222,500)	6.81
	企 業 債 償 還 金	33,489,000	85.42	28.79	33,488,918	93.19
大 江 分 院 収 支 不 足 額	△3,626,000	-	-	△1,448,418	-	-
収 支 不 足 額 計	△1,471,283,500	-	-	△1,333,378,826	-	-

【補てん財源】

市 民 病 院	損益勘定留保資金	1,462,566,500	99.65	99.23	1,328,517,292	99.74	99.45	90.83	76.72
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	5,091,000	0.35	0.77	3,413,116	0.26	0.55	67.04	54.29
	計	1,467,657,500	100.00	100.00	1,331,930,408	100.00	100.00	90.75	76.55
大 江 分 院	損益勘定留保資金	3,600,000	99.28	96.53	1,441,383	99.51	96.71	40.04	61.73
	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	26,000	0.72	3.47	7,035	0.49	3.29	27.06	58.40
	計	3,626,000	100.00	100.00	1,448,418	100.00	100.00	39.95	61.61
	計	1,471,283,500			1,333,378,826			90.63	76.40

市民病院の決算額における資本的収入額は9億5,730万1,000円、資本的支出額は22億8,923万1,408円で、収支不足額13億3,193万408円は、補てん財源の損益勘定留保資金13億2,851万7,292円と消費税及び地方消費税資本的収支調整額341万3,116円で補てんされている。

大江分院の決算額における資本的収入額は、3,448万8,000円、資本的支出額は3,593万6,418円で、収支不足額144万8,418円は、補てん財源の損益勘定留保資金144万1,383円と消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,035円で補てんされている。

3 経営状況(損益収支)について(消費税及び地方消費税を除く。)

損益収支の状況を年度別に比較すると次のとおりである。

〈損益収支の年度別比較〉

〔市民病院〕

(単位:円・%)

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和6年度対令和5年度	
				比較増減	増減率
総 収 益	16,097,084,693	15,818,124,641	15,770,088,836	278,960,052	1.76
総 費 用	16,190,196,362	15,486,406,087	15,331,840,797	703,790,275	4.54
損 益	△93,111,669	331,718,554	438,248,039	△424,830,223	△128.07

〔大江分院〕

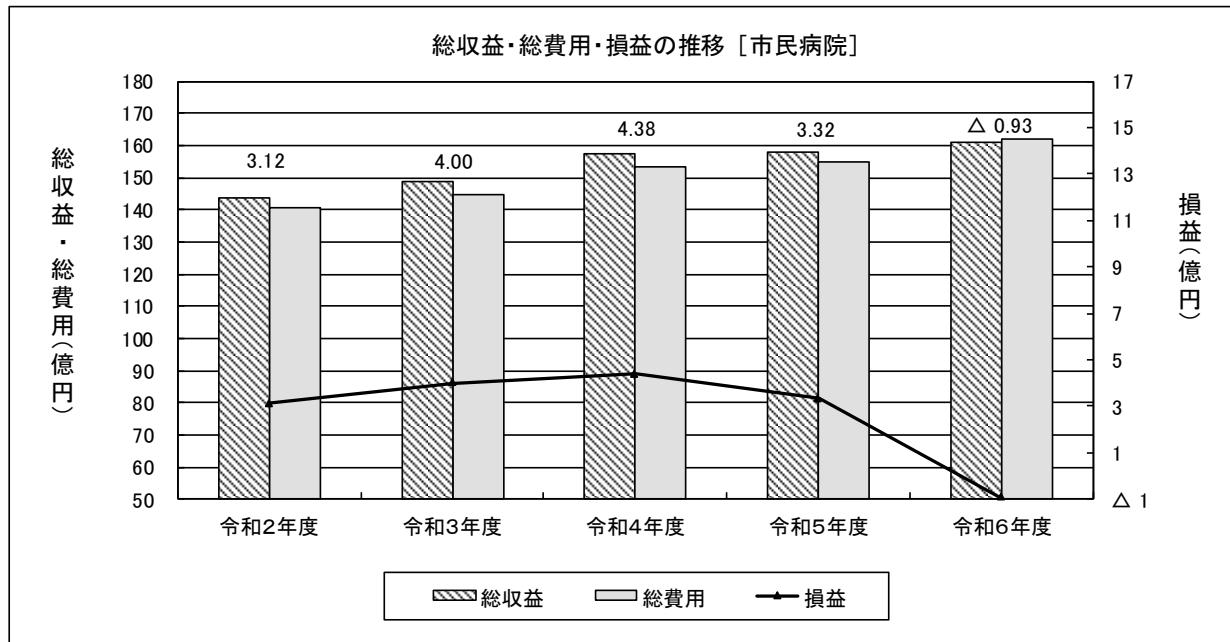
(単位:円・%)

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和6年度対令和5年度	
				比較増減	増減率
総 収 益	742,887,089	705,021,233	723,180,921	37,865,856	5.37
総 費 用	706,507,223	690,046,187	665,015,252	16,461,036	2.39
損 益	36,379,866	14,975,046	58,165,669	21,404,820	142.94

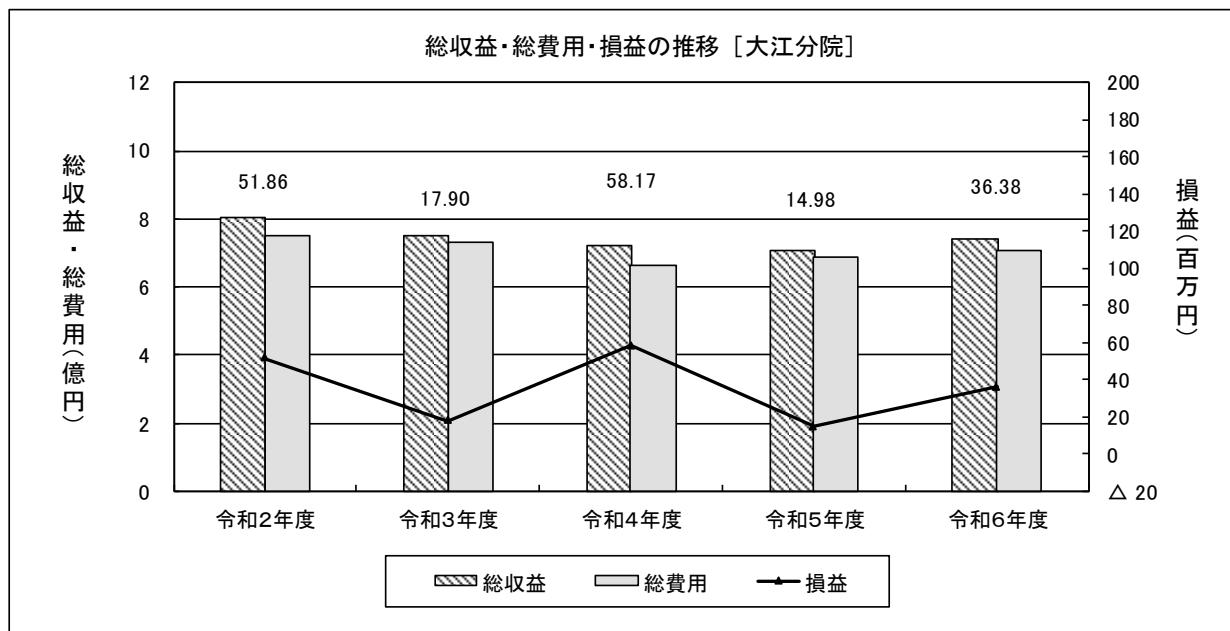
市民病院は、前年度に比べ総収益が2億7,896万52円(1.76%)増加したが、総費用が7億379万275円(4.54%)と大きく増加した結果、損益収支は前年度に比べ4億2,483万223円悪化し、9,311万1,669円の赤字となっている。

大江分院は、前年度に比べ総収益が3,786万5,856円(5.37%)増加し、総費用が1,646万1,036円(2.39%)の増加にとどまった結果、損益収支は前年度に比べ2,140万4,820円増加し、3,637万9,866円の黒字となっている。

総収益、総費用及び損益の最近5か年の推移は次の図のとおりである。



市民病院については、診療収入は伸びたが、給与改定による給与費の上昇や物価高騰による経費の増加など、支出額の大幅な増加が経営努力をはるかに上回った。その結果、平成 22 年度以降令和5年度まで 14 年連続の黒字決算であったが、令和6年度は赤字決算となっている。



大江分院については、患者数の増加と診療単価の上昇により診療収入が伸び、給与改定や物価高騰による支出の増加額を上回ったことにより、令和6年度も黒字決算となっている。

事業費用を性質別に分類して、年度別に比較すると次のとおりである。

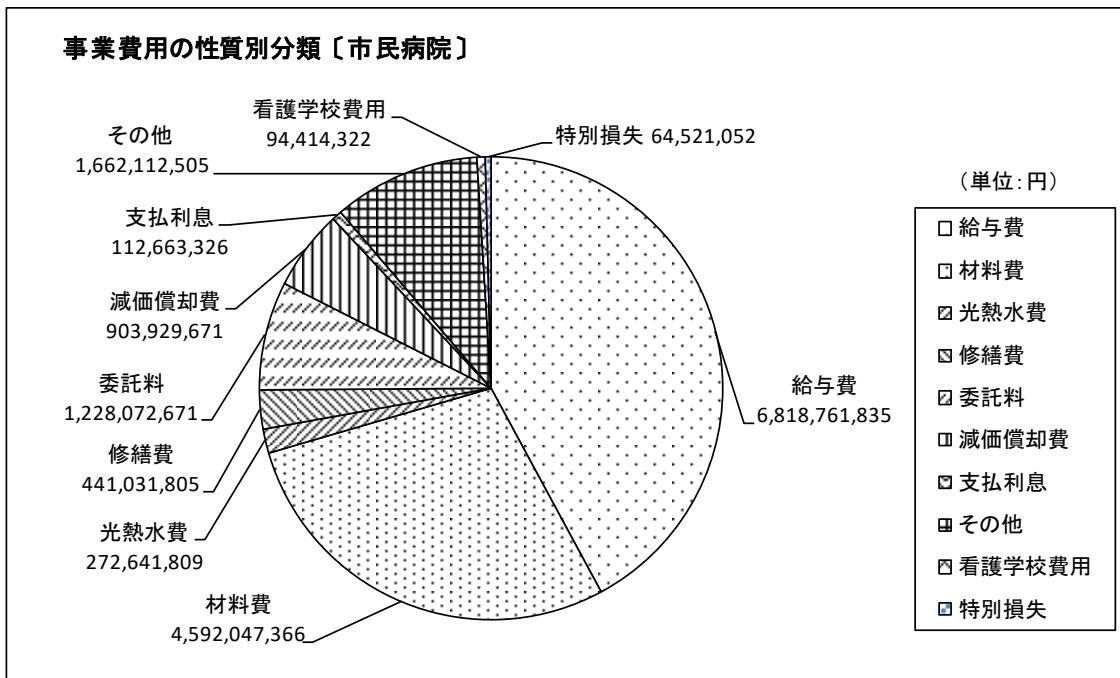
〈性質別に分類した事業費用の年度別比較〉

性質別分類	令和6年度		令和5年度		令和4年度		(単位:円・%)	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	令和6年度対令和5年度比較増減	増減率
給与費	6,818,761,835	42.12	6,314,585,548	40.78	6,124,682,852	39.95	504,176,287	7.98
材料費	4,592,047,366	28.36	4,507,620,285	29.11	4,215,976,397	27.50	84,427,081	1.87
光熱水費	272,641,809	1.68	252,985,185	1.63	323,585,266	2.11	19,656,624	7.77
修繕費	441,031,805	2.72	540,700,272	3.49	613,501,029	4.00	△99,668,467	△18.43
委託料	1,228,072,671	7.59	1,193,005,353	7.70	1,149,138,607	7.50	35,067,318	2.94
減価償却費	903,929,671	5.58	779,281,725	5.03	1,116,832,531	7.28	124,647,946	16.00
支払利息	112,663,326	0.70	118,792,226	0.77	127,345,012	0.83	△6,128,900	△5.16
(うち企業債利息)	(112,663,326)	(0.70)	(118,792,226)	(0.77)	(127,345,012)	(0.83)	(△6,128,900)	(△5.16)
その他	1,662,112,505	10.27	1,575,216,781	10.17	1,505,075,495	9.82	86,895,724	5.52
看護学校費用	94,414,322	0.58	91,456,240	0.59	92,656,855	0.60	2,958,082	3.23
(うち給与費)	(78,523,657)	(0.49)	(76,940,653)	(0.50)	(76,971,631)	(0.50)	(1,583,004)	(2.06)
特別損失	64,521,052	0.40	112,762,472	0.73	63,046,753	0.41	△48,241,420	△42.78
計	16,190,196,362	100.00	15,486,406,087	100.00	15,331,840,797	100.00	703,790,275	4.54

(注) 給与費は、給料、手当等、報酬、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額である。

市民病院の事業費用は、前年度に比べ7億379万275円(4.54%)増加している。

前年度に比べ増加した主なものは給与費、減価償却費、その他の費用であり、減少した主なものは修繕費、特別損失である。



〔大江分院〕

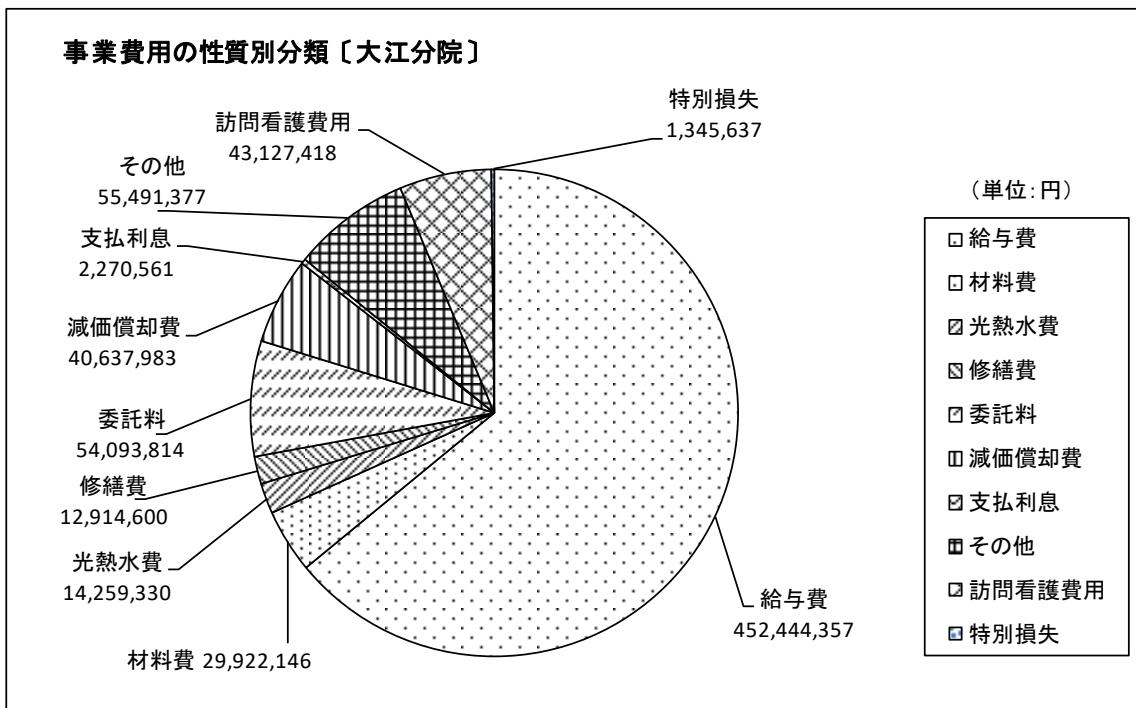
(単位:円・%)

性質別分類	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和6年度対令和5年度 比較増減	増減率
	金額	構成 比率	金額	構成 比率	金額	構成 比率		
給与費	452,444,357	64.04	440,335,446	63.81	410,753,206	61.77	12,108,911	2.75
材料費	29,922,146	4.24	21,370,848	3.10	32,920,275	4.95	8,551,298	40.01
光熱水費	14,259,330	2.02	11,720,466	1.70	14,455,875	2.17	2,538,864	21.66
修繕費	12,914,600	1.83	21,769,240	3.15	13,763,067	2.07	△8,854,640	△40.68
委託料	54,093,814	7.66	52,525,822	7.61	51,432,738	7.73	1,567,992	2.99
減価償却費	40,637,983	5.75	31,973,104	4.63	36,145,043	5.44	8,664,879	27.10
支払利息	2,270,561	0.32	2,323,249	0.34	2,545,501	0.38	△52,688	△2.27
(うち企業債利息)	(2,270,561)	(0.32)	(2,323,249)	(0.34)	(2,545,501)	(0.38)	(△52,688)	(△2.27)
その他	55,491,377	7.85	59,249,453	8.59	65,614,709	9.87	△3,758,076	△6.34
訪問看護費用	43,127,418	6.10	38,968,986	5.65	36,412,286	5.48	4,158,432	10.67
(うち給与費)	(40,612,778)	(5.75)	(36,660,106)	(5.31)	(34,126,811)	(5.13)	(3,952,672)	(10.78)
特別損失	1,345,637	0.19	9,809,573	1.42	972,552	0.15	△8,463,936	△86.28
計	706,507,223	100.00	690,046,187	100.00	665,015,252	100.00	16,461,036	2.39

(注) 給与費は、給料、手当等、報酬、法定福利費、退職給付費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金繰入額である。

大江分院の事業費用は、前年度に比べ 1,646 万 1,036 円 (2.39%) 増加している。

前年度に比べ増加した主なものは給与費、減価償却費、材料費であり、減少した主なものは修繕費、特別損失である。



4 財政状況(貸借対照表)について

(1) 資産

固定資産・流動資産を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈資産の前年度比較〉

〔市民病院〕

(単位:円)

区分	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	15,742,800,977	15,344,673,808	398,127,169
有形固定資産	14,617,806,999	14,618,197,117	△390,118
投資その他の資産	1,124,993,978	726,476,691	398,517,287
流動資産	9,537,716,331	9,942,522,464	△404,806,133
現金預金	7,086,592,449	7,555,536,171	△468,943,722
未収金	2,413,609,330	2,353,776,792	59,832,538
貸倒引当金	△5,487,642	△5,594,629	106,987
貯蔵品	41,270,354	38,224,630	3,045,724
前払費用	1,731,840	579,500	1,152,340
資産合計	25,280,517,308	25,287,196,272	△6,678,964

〔大江分院〕

(単位:円)

区分	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	713,355,149	754,751,472	△41,396,323
有形固定資産	690,358,133	728,851,034	△38,492,901
投資その他の資産	22,997,016	25,900,438	△2,903,422
流動資産	544,178,447	478,207,282	65,971,165
現金預金	419,106,160	359,477,787	59,628,373
未収金	125,026,447	118,683,655	6,342,792
前払費用	45,840	45,840	0
資産合計	1,257,533,596	1,232,958,754	24,574,842

市民病院の資産は252億8,051万7,308円で、前年度より667万8,964円(0.03%)減少している。

固定資産は、157億4,280万977円で、前年度に比べ3億9,812万7,169円増加している。主な要因は、地方債を購入したことにより投資その他の資産が前年度に比べ3億9,851万7,287円増加したことによるものである。

流動資産は、95億3,771万6,331円で、前年度に比べ4億480万6,133円減少している。主な要因は、現金預金の減少によるものである。

貯蔵品(内服薬・注射薬など)のたな卸については、現品過不足なく正確に処理されている。

大江分院の資産は、12億5,753万3,596円で、前年度に比べ2,457万4,842円(1.99%)増加している。

固定資産は、7億1,335万5,149円で、前年度に比べ4,139万6,323円減少している。主な要因は、建物等の減価償却などにより、有形固定資産が前年度に比べ3,849万2,901円減少したことによ

るものである。

流動資産は、5億4,417万8,447円で、前年度に比べ6,597万1,165円増加している。主な要因は、現金預金の増加によるものである。

有形固定資産現在高の増減状況は、次のとおりである。

〈有形固定資産現在高の増減状況〉

[市民病院]

(単位:円)

項目	増加したもの		減少したもの		増減
	金額	説明	金額	説明	
建物	327,419,000	施設用建物 327,419,000	172,777,851	施設用建物 172,777,851	154,641,149
器械備品	503,720,500	病院用機器 503,720,500	369,914,620	病院用機器 369,753,120 看護学校用機器 161,500	133,805,880
車両	3,180,000	病院用車両 3,180,000	-	-	3,180,000
建設仮勘定	930,400,050	未供用資産 930,400,050	831,403,050	供用開始による振替 831,403,050	98,997,000
計	1,764,719,550	-	1,374,095,521	-	390,624,029

市民病院の年度末における有形固定資産の現在高は279億1,417万1,472円で、前年度に比べ3億9,062万4,029円増加している。減価償却累計額132億9,636万4,473円を控除すると令和6年度末の償却未済高は146億1,780万6,999円である。

[大江分院]

(単位:円)

項目	増加したもの		減少したもの		増減
	金額	説明	金額	説明	
器械備品	2,225,000	病院用機器 1,825,000 訪問看護ステーション用機器 400,000	7,218	病院用機器 7,218	2,217,782
車両	-	-	72,700	訪問看護ステーション用車両 72,700	△ 72,700
建設仮勘定	2,225,000	未供用資産 2,225,000	2,225,000	供用開始による振替 2,225,000	0
計	4,450,000	-	2,304,918	-	2,145,082

大江分院の年度末における有形固定資産の現在高は12億4,097万1,681円で、前年度に比べ214万5,082円増加している。減価償却累計額5億5,061万3,548円を控除すると令和6年度末の償却未済高は6億9,035万8,133円である。

債権放棄により不納欠損処分されたものは、次のとおりである。

〈不納欠損処分の内訳〉

債 権 名	人數(人)	件数(件)	金 額 (円)	理 由 别 内 訳
診 療 費	31	95	5,527,359	生活保護 3人 3件 1,648,330円 自己破産 6人 28件 1,281,550円 時 効 13人 49件 1,904,315円 徵収停止 9人 15件 693,164円
計	31	95	5,527,359	

当年度の不納欠損は、前年度に比べ件数は 14 件減少しているが、人数は 2 人、金額は 1 万 6,948 円増加している。

(2) 負 債

固定負債を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈固定負債の前年度比較〉

〔市民病院〕		(単位:円)	
科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
企 業 債	6,223,077,393	6,914,164,664	△691,087,271
引 当 金	1,581,562,592	1,412,079,129	169,483,463
計	7,804,639,985	8,326,243,793	△521,603,808

〔大江分院〕		(単位:円)	
科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
企 業 債	316,840,525	365,864,824	△49,024,299
引 当 金	95,664,246	80,519,152	15,145,094
計	412,504,771	446,383,976	△33,879,205

市民病院の固定負債は、前年度に比べ 5 億 2,160 万 3,808 円 (6.26%) 減少し、78 億 463 万 9,985 円となっている。

企業債は、新規借入が 3 億 8,960 万円あったが、翌年度の償還額 10 億 8,068 万 7,271 円が流動負債に振り替えられたことにより 6 億 9,108 万 7,271 円の減少となっている。引当金は、退職給付引当金が 1 億 413 万 3,537 円、修繕引当金が 2,200 万円取り崩されたが、新たに退職給付引当金が 2 億 7,361 万 7,000 円、修繕引当金が 2,200 万円計上されたことにより 1 億 6,948 万 3,463 円増加している。

大江分院の固定負債は、前年度に比べ 3,387 万 9,205 円 (7.59%) 減少し、4 億 1,250 万 4,771 円となっている。

企業債は、翌年度の償還額が流動負債に振り替えられたことにより 4,902 万 4,299 円の減少となっている。引当金は、退職給付引当金が 406 万 7,906 円取り崩されたが、新たに退職給付引当金が 1,821 万 3,000 円、修繕引当金が 100 万円計上されたことにより 1,514 万 5,094 円増加している。

流動負債を前年度と比較すると、次のとおりで不良債務はない。

〈流動負債の前年度比較〉

[市民病院]

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
企 業 債	1,080,687,271	862,583,258	218,104,013
未 払 金	1,486,081,070	1,090,056,052	396,025,018
未 払 費 用	6,326,983	6,078,099	248,884
前 受 金	227,500	0	227,500
預 り 金	61,017,188	56,516,496	4,500,692
引 当 金	505,858,000	430,036,000	75,822,000
計	3,140,198,012	2,445,269,905	694,928,107

[大江分院]

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
企 業 債	49,024,299	33,488,918	15,535,381
未 払 金	26,519,926	26,676,807	△156,881
未 払 費 用	762,517	714,101	48,416
預 り 金	186,154	122,860	63,294
引 当 金	43,461,000	35,664,000	7,797,000
計	119,953,896	96,666,686	23,287,210

市民病院の流動負債は、すべての科目において増加し、前年度に比べ 6 億 9,492 万 8,107 円 (28.42%) 増加し、31 億 4,019 万 8,012 円となっている。

大江分院の流動負債は、未払金が若干減少したものの他すべての科目的増加により、前年度に比べ 2,328 万 7,210 円 (24.09%) 増加し、1 億 1,995 万 3,896 円となっている。

繰延収益を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈繰延収益の前年度比較〉

〔市民病院〕

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
長 期 前 受 金	6,415,466,853	5,955,059,007	460,407,846
長期前受金収益化累計額	△5,259,778,675	△4,670,626,235	△589,152,440
計	1,155,688,178	1,284,432,772	△128,744,594

〔大江分院〕

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
長 期 前 受 金	945,530,793	911,124,182	34,406,611
長期前受金収益化累計額	△700,185,368	△664,565,728	△35,619,640
計	245,345,425	246,558,454	△1,213,029

繰延収益は、前年度に比べ市民病院では1億2,874万4,594円(10.02%)減少し11億5,568万8,178円となっており、大江分院では121万3,029円(0.49%)減少し2億4,534万5,425円となっている。

(3) 資本金

資本金を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈資本金の前年度比較〉

〔市民病院〕

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
資 本 金	5,173,681,092	5,131,828,092	41,853,000
自 己 資 本 金	5,173,681,092	5,131,828,092	41,853,000
固 有 資 本 金	235,358,092	235,358,092	0
繰 入 資 本 金	4,605,023,000	4,563,170,000	41,853,000
組 入 資 本 金	333,300,000	333,300,000	0

〔大江分院〕

(単位:円)

科 目

令和6年度

令和5年度

増 減

資 本 金

0

0

0

市民病院の資本金は51億7,368万1,092円であり、前年度に比べ4,185万3,000円(0.82%)増加している。また、大江分院の資本金は0円であり増減はない。

(4) 剰余金

剰余金を前年度と比較すると、次のとおりである。

〈剰余金の前年度比較〉

[市民病院]

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
剰 余 金	8,006,310,041	8,099,421,710	△93,111,669
資 本 剰 余 金	7,278,156,635	7,278,156,635	0
受 贈 財 産 評 価 額	7,033,428,635	7,033,428,635	0
補 助 金	244,728,000	244,728,000	0
利 益 剰 余 金	728,153,406	821,265,075	△93,111,669
減 債 積 立 金	217,000,000	217,000,000	0
建 設 改 良 積 立 金	73,000,000	73,000,000	0
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	438,153,406	531,265,075	△93,111,669

[大江分院]

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	増 減
剰 余 金	479,729,504	443,349,638	36,379,866
資 本 剰 余 金	102,039,364	102,039,364	0
受 贈 財 産 評 価 額	102,039,364	102,039,364	0
利 益 剰 余 金	377,690,140	341,310,274	36,379,866
減 債 積 立 金	15,000,000	15,000,000	0
建 設 改 良 積 立 金	289,000,000	289,000,000	0
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	73,690,140	37,310,274	36,379,866

市民病院の剰余金は 80 億 631 万 41 円であり、前年度に比べ 9,311 万 1,669 円(1.15%)減少している。これは、当年度純損失が 9,311 万 1,669 円計上されたことによるものである。

大江分院の剰余金は 4 億 7,972 万 9,504 円となっており、前年度に比べ 3,637 万 9,866 円(8.21%)増加している。利益剰余金は、当年度純利益が 3,637 万 9,866 円計上されたことにより、3 億 7,769 万 140 円となっている。

5 キャッシュ・フローについて

キャッシュ・フローの状況は、次のとおりである。

＜キャッシュ・フローの状況＞

〔市民病院〕		(単位:円)
区分	金額	
A 資金期首残高		7, 555, 536, 171
① 業務活動によるキャッシュ・フロー		436, 348, 340
② 投資活動によるキャッシュ・フロー		△931, 513, 804
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー		26, 221, 742
B 資金増減額 (①+②+③)		△468, 943, 722
C 資金期末残高 (A+B)		7, 086, 592, 449

〔大江分院〕		(単位:円)
区分	金額	
A 資金期首残高		359, 477, 787
① 業務活動によるキャッシュ・フロー		60, 211, 756
② 投資活動によるキャッシュ・フロー		△583, 465
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー		82
B 資金増減額 (①+②+③)		59, 628, 373
C 資金期末残高 (A+B)		419, 106, 160

キャッシュ・フロー計算書の資金期末残高は、市民病院、大江分院とも貸借対照表における流動資産の現金預金の額と一致している。

6 む す び

業務実績をみると、市民病院の令和6年度の年間延患者数については、入院が 11 万 2,920 人で前年度に比べ 3,958 人(3.63%)の増加、外来は 24 万 1,621 人で前年度に比べ 4,501 人(1.90%)の増加、総患者数は 8,459 人(2.44%)の増加となっている。これを1日平均でみると、入院患者は 11.66 人の増加、外来患者については 18.53 人の増加となっている。

また、大江分院については、入院が 1 万 7,530 人で前年度に比べ 1,234 人(7.57%)の増加、外来は 1 万 4,676 人で前年度に比べ 45 人(0.31%)の増加、総患者数は 1,279 人(4.14%)の増加となっており、これを1日平均でみると、前年度よりも入院患者数は 3.51 人の増加、外来患者数は 0.19 人の増加となっている。

市民病院においては、患者数が前年度より増加したことにより入院収益が増加し、診療収入は前年度比 1.6 ポイントの伸びとなった。しかし、物価高騰による診療材料費、委託料、光熱水費などの経費の増加や給与改定による給与費の大幅な増加と診療報酬の改定が、経営努力をはるかに上回ったため 9,311 万 1,669 円の純損失が計上され、未処分利益剰余金は 4 億 3,815 万 3,406 円となっている。

また、大江分院においては入院患者数の増加と診療単価上昇による収入の増加額が、給与改定や物価高騰による支出の増加額を上回ったため、当年度純利益 3,637 万 9,866 円が計上され、未処分利益剰余金は 7,369 万 140 円となっている。

債権の放棄に伴う不納欠損処分は、31 人、95 件、552 万 7,359 円であり、前年度に比べ件数は 14 件減少しているが、人数は 2 人、金額は 1 万 6,948 円の増加となっている。いずれも法令の規定により処理されているが、併せて新規未納者の発生を防止するため早い段階での相談業務等を行い、今後とも負担の公平性を確保するため適正な債権管理に努められたい。

次に経営分析からみた経営の状況は以下のとおりである。

- ① 流動比率については、1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債を比較して安全性を判断する指標であり、一般的には 200%以上が理想とされている。市民病院は前年度に比べ 102.87 ポイント低下して 303.73%となり、大江分院については、前年度に比べ 41.04 ポイント低下して 453.66%となっている。
- ② 固定資産回転率については、医業収益と設備投資に投入された資本との関係で設備利用の度合いを見る指標であり、大きいほど良いとされている。市民病院は前年度に比べ 0.026 回減少し、0.953 回となっている。大江分院は、前年度に比べ 0.06 回向上し、0.818 回となっている。
- ③ 固定長期適合率については、固定資産が資本の範囲内で調達されているかを示す指標であり、100%以下が健全とされており、市民病院は前年度と比べ 3.92 ポイント増加し、71.10%となっており、大江分院は前年度と比べ 3.71 ポイント向上し、62.71%となっている。
- ④ 利益比率については、利益幅の程度を示す指標であり、高いほど良好とされており、市民病院は前年度に比べ 2.9 ポイント低下し△0.63%となっている。大江分院は前年度と比べ 3.39 ポイント向上し、6.06%となっている。

(参考資料)

$\textcircled{1} \text{ 流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td><td>303.73%</td><td>406.60%</td></tr> <tr> <td>大</td><td>453.66%</td><td>494.70%</td></tr> </tbody> </table>		令和6年度	令和5年度	市	303.73%	406.60%	大	453.66%	494.70%
	令和6年度	令和5年度								
市	303.73%	406.60%								
大	453.66%	494.70%								
$\textcircled{2} \text{ 固定資産回転率} = \frac{\text{医業収益}}{(\text{期末固定資産} + \text{期首固定資産}) \div 2}$	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td><td>0.953回</td><td>0.979回</td></tr> <tr> <td>大</td><td>0.818回</td><td>0.758回</td></tr> </tbody> </table>		令和6年度	令和5年度	市	0.953回	0.979回	大	0.818回	0.758回
	令和6年度	令和5年度								
市	0.953回	0.979回								
大	0.818回	0.758回								
$\textcircled{3} \text{ 固定長期適合率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ (自己資本 = 自己資本金 + 剰余金)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td><td>71.10%</td><td>67.18%</td></tr> <tr> <td>大</td><td>62.71%</td><td>66.42%</td></tr> </tbody> </table>		令和6年度	令和5年度	市	71.10%	67.18%	大	62.71%	66.42%
	令和6年度	令和5年度								
市	71.10%	67.18%								
大	62.71%	66.42%								
$\textcircled{4} \text{ 利益比率} = \frac{\text{利益}}{\text{医業収益}} \times 100$	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市</td><td>△0.63%</td><td>2.27%</td></tr> <tr> <td>大</td><td>6.06%</td><td>2.67%</td></tr> </tbody> </table>		令和6年度	令和5年度	市	△0.63%	2.27%	大	6.06%	2.67%
	令和6年度	令和5年度								
市	△0.63%	2.27%								
大	6.06%	2.67%								

(注)表の上段は市民病院、下段は大江分院

総務省が公表している令和5年度決算に係る公立病院の経営比較分析表によると、市民病院については、病床利用率、入院・外来患者数は、ともに全国及び類似病院の平均を上回っており、職員1人当たりの診療収入も同様に良好な状況にある。

令和6年度の病院事業の運営については、高度化、多様化する本市や近隣市町住民の医療ニーズに応えるため、診療科の増設や医療人材の確保を進めており、施設整備や医療機器整備等も着実に実施し、また、地域災害拠点病院として必要とされる非常用自家発電機設備の整備に関連する設計業務を完了している。今後においても、地域住民への安全で良質な医療サービスの提供に向け、必要な医療資源の確保・充実の推進に努められることを期待する。

大江分院については、地域の人口動態や医療ニーズの変化等、将来を見据えて地域特性に応じた運営が必要とされている。今後においても、地域住民が安心、安全に暮らせるよう地域医療体制が確保されることを期待する。

市立福知山市民病院が、「命と健康を守り、信頼される病院」という基本理念のもと、安定した経営を維持し、時代の変化や様々な医療ニーズに応える基幹的総合病院としてより一層進化しつづけられることを望むものである。

1 損益計算書構成並びにすう勢比率表〔市民病院〕

(注) すう勢比率は、令和4年度を100%とする。

科 目	金 領	借 方						貸 方					
		構 成		比 率		すう勢 比 率		構 成		比 率		すう勢 比 率	
		令和6年度	令和5年度	%	%	令和6年度	令和5年度	%	%	令和6年度	令和5年度	%	%
1 医業費用	15,108,939,244	93.32	92.84	105.88	100.75	1 医業収益	14,820,829,192	92.07	92.20	104.72	103.05		
(1) 給与費	6,818,761,835	42.12	40.78	111.33	103.10	(1) 入院収益	8,802,226,799	54.68	54.18	104.54	101.79		
(2) 材料費	4,592,047,366	28.36	29.11	108.92	106.92	(2) 外来収益	5,200,785,152	32.31	32.97	105.49	105.79		
(3) 経費	2,728,740,683	16.85	17.46	98.87	97.97	(3) 他会計負担金	200,506,000	1.25	1.28	96.58	97.66		
(4) 減価償却費	903,929,671	5.58	5.03	80.94	69.78	(4) その他医業収益	617,311,241	3.83	3.76	103.73	99.96		
(5) 資産減耗費	6,138,296	0.04	0.13	97.93	312.75	2 医業外収益	1,012,844,491	6.29	6.20	67.17	64.99		
(6) 研究修費	59,321,393	0.37	0.34	127.05	112.71	(1) 受取利息	11,583,909	0.07	0.05	180.45	115.59		
2 医業外費用	922,321,744	5.70	5.84	101.82	99.88	(2) 他会計負担金	406,440,000	2.52	2.53	79.28	77.95		
(1) 支払利息	112,663,326	0.70	0.77	88.47	93.28	(3) 他会計補助金	3,600,000	0.02	0.01	-	-		
(2) 院内保育所費	32,514,002	0.20	0.21	131.34	132.58	(4) 補助金	62,063,950	0.39	0.98	14.85	36.92		
(3) 長期前払消費税償却	91,246,247	0.56	0.51	107.66	93.33	(5) 院内保育所収益	2,552,840	0.02	0.02	103.22	123.98		
(4) 雜支出	685,898,169	4.24	4.35	102.53	100.75	(6) 長期前受金戻入	479,418,220	2.98	2.35	90.95	70.46		
3 看護学校費用	94,414,322	0.58	0.59	101.90	98.70	(7) その他医業外収益	47,185,572	0.29	0.27	114.78	102.76		
(1) 給与費	78,523,657	0.49	0.50	102.02	99.96	3 看護学校収益	89,941,636	0.56	0.55	105.34	101.30		
(2) 経費	13,267,894	0.08	0.08	110.98	100.43	(1) 授業料収益	5,520,000	0.03	0.05	69.70	92.42		
(3) 減価償却費	2,614,696	0.02	0.01	70.47	61.09	(2) 受験手数料収益	330,000	0.00	0.00	100.00	77.27		
(4) 資産減耗費	8,075	0.00	0.00	41.37	1,241.26	(3) 入学金収益	1,800,000	0.01	0.01	66.67	83.33		
4 特別損失	64,521,052	0.40	0.73	102.34	178.86	(4) 他会計負担金	81,663,000	0.51	0.48	110.88	103.13		
小計	16,190,196,362	100.00	100.00	105.60	101.01	(5) その他看護学校収益	628,636	0.00	0.00	80.18	91.23		
当年度純利益	△93,111,669	-	-	△21.25	75.69	4 特別利益	173,469,374	1.08	1.06	713.44	691.02		
合計	16,097,084,693	-	-	102.07	100.30	合計	16,097,084,693	100.00	100.00	102.07	100.30		

2 損益計算書構成並びにすう勢比率表〔大江分院〕

(注) すう勢比率は、令和4年度を100%とする。

借 方				貸 方			
科 目	金 領	構 成	比 率	科 目	金 領	構 成	比 率
	令和6年度	令和5年度	令和6年度		令和6年度	令和5年度	令和6年度
1 医業費用	643,498,293	91.08	90.60	105.36	102.37	1 医業収益	600,327,122
(1) 紙与費	452,444,357	64.04	63.81	110.15	107.20	(1) 入院収益	461,116,676
(2) 材料費	29,922,146	4.24	3.10	90.89	64.92	(2) 外来収益	120,169,721
(3) 経費	119,393,748	16.90	18.76	92.17	99.91	(3) その他医業収益	19,040,725
(4) 減価償却費	40,637,983	5.75	4.63	112.43	88.46	2 医業外収益	114,501,284
(5) 資産減耗費	79,918	0.01	0.06	25.67	136.61	(1) 受取利息	265,862
(6) 研究研修費	1,020,141	0.14	0.24	93.62	154.29	(2) 他会計負担金	72,841,000
2 医業外費用	18,535,875	2.62	2.33	109.86	95.20	(3) 補助金	2,231,370
(1) 支払利息	2,270,561	0.32	0.34	89.20	91.27	(4) 長期前受金戻入	35,699,558
(2) 長期前払消費税償却	3,117,416	0.44	0.28	162.53	101.98	(5) その他医業外収益	3,463,494
(3) 雑支出	13,147,898	1.86	1.71	105.96	94.96	3 訪問看護収益	28,058,683
3 訪問看護費用	43,127,418	6.10	5.65	118.44	107.02	(1) 訪問看護収益	24,651,949
(1) 紙与費	40,612,778	5.75	5.31	119.01	107.42	(2) 訪問看護利用料収益	2,147,034
(2) 経費	2,514,640	0.36	0.33	110.03	101.02	(3) 居宅介護支援収益	1,259,700
4 特別損失	1,345,637	0.19	1.42	138.36	1,008.64	4 特別利益	-
小計	706,507,223	100.00	100.00	106.24	103.76		-
当年度純利益	36,379,866	-	-	62.55	25.75		
合計	742,887,089	-	-	102.72	97.49	合計	742,887,089
							100.00
							102.72
							97.49

3 貸借対照表構成並びにすう勢比率表 [市民病院]

(注) すう勢比率は、令和4年度を100%とする。

借		方		貸		方	
科 目	金 額	構 成	比 率	寸 う	勢 率	構 成	比 率
1 固定資産	15,742,800,977	%	%	%	%	%	%
(1) 有形固定資産	14,617,806,999	62.27	60.68	108.93	106.17	1 固定負債	7,804,639,985
(2) 投資その他の資産	1,124,993,978	4.45	2.87	400.88	255.87	(2) 引当金	6,223,077,393
2 流動資産	9,537,716,331	37.73	39.32	96.08	100.16	2 流動負債	1,581,562,592
(1) 現金預金	7,086,592,449	28.03	29.88	96.33	102.71	(1) 企業債	3,140,198,012
(2) 未収金	2,413,609,330	9.55	9.31	95.34	92.98	(2) 未払金	1,080,687,271
貸倒引当金	△ 5,487,642	△ 0.02	-	-	-	(3) 未払費用	6,326,983
(3) 貯蔵品	41,270,354	0.16	0.15	100.67	93.24	(4) 前受金	227,500
(4) 前払費用	1,731,840	0.01	0.00	166.25	55.63	(5) 預り金	61,017,188
						(6) 引当金	505,858,000
						3 繰延収益	1,155,688,178
						(1) 長期前受金	6,415,466,853
						(2) 収益化累計額	△ 5,259,778,675
						(1) 自己資本金	5,173,681,092
						(2) 利益剰余金	728,153,406
						5 剰余金	8,006,310,041
						(1) 資本剰余金	7,278,156,635
						(2) (欠損金)	103,700
資産合計	25,280,517,308	100.00	100.00	103.70	103.70	負債資本合計	25,280,517,308

4 貸借対照表構成並びにすう勢比率表〔大江分院〕

(注) すう勢比率は、令和4年度を100%とする。

科 目	金 額	借 方			貸 方			構 成 比 率	すう勢 比 率	構 成 比 率	すう勢 比 率
		令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度				
1 固 定 資 産	円 713,355,149	56.73%	61.21%	98.08%	103.77%	1 固 定 負 債	円 412,504,771	32.80%	36.20%	102.96%	111.42%
(1) 有 形 固 定 資 産	690,358,133	54.90%	59.11%	97.83%	103.29%	(1) 企 業 債	円 316,840,525	25.20%	29.67%	93.78%	108.29
(2) 投資その他資産	22,997,016	1.83%	2.10%	106.09%	119.48%	(2) 引 当 金	円 95,664,246	7.61%	6.53%	152.38%	128.25
2 流 動 資 産	544,178,447	43.27%	38.79%	125.39%	110.19%	2 流 動 負 債	円 119,953,896	9.54%	7.84%	140.62%	113.32
(1) 現 金 預 金	419,106,160	33.33%	29.16%	135.29%	116.04%	(1) 企 業 債	円 49,024,299	3.90%	2.72%	147.38%	100.68
(2) 未 収 金	125,026,447	9.94%	9.63%	100.68%	95.57%	(2) 未 払 金	円 26,519,926	2.11%	2.16%	97.79%	98.37
(3) 前 払 費 用	45,840	0.00%	0.00%	289.39%	289.39%	(3) 未 払 費 用	円 762,517	0.06%	0.06%	98.12%	91.89
						(4) 預 り 金	円 186,154	0.01%	0.01%	136.40%	90.02
						(5) 引 当 金	円 42,461,000	3.46%	2.89%	181.02%	148.54
						3 繰 延 収 益	円 245,345,425	19.51%	20.00%	99.33%	99.82
						(1) 長 期 前 受 金	円 945,530,733	75.19%	73.90%	106.67%	102.79
						(2) 長 期 前 受 金	△ 700,185,368	△ 55.68%	△ 53.90%	-	-
						4 資 本 金	0	-	-	-	-
						5 剰 余 金	円 479,729,504	38.15%	35.96%	111.99%	103.50
						(1) 資 本 剰 余 金	円 102,039,364	8.11%	8.28%	100.00%	100.00
						(2) 利 益 剰 余 金	円 377,690,140	30.03%	27.68%	115.74%	104.59
資 产 合 计	1,257,533,596	100.00%	100.00%	108.29%	106.17%	負 債 資 本 合 計	円 1,257,533,596	100.00%	100.00%	108.29%	106.17

5 診療科目別・月別入院患者数の状況表〔市民病院〕

年 月	内 科	呼吸器 内科	消化器 内科	循環器 内科	血液 内科	腫瘍 内科	腎臓 内科	糖尿病 内科	膠原病 内科	小兒科	呼吸器 外科	消化器 外科	乳腺 外科	整形 外科	脳神經 外科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射線科	リハビ リテーション科	救急科	下段：延 患 者 数		上段：一日平均患者数	
																									上段：延 患 者 数			
4	669	675	775	467	972	515	123	94	84	170	272	389	80	1,328	598	3	58	318	239	70	186	2	1,286	66	9,439			
5	535	586	938	436	941	558	154	79	112	259	228	393	72	1,151	420	4	63	317	358	66	161	0	1,155	35	9,061			
6	473	554	891	466	978	620	127	107	73	209	158	467	68	1,318	458	4	94	255	374	101	142	0	1,207	48	9,192			
7	570	583	1,035	504	1,136	566	59	107	133	243	239	399	80	1,304	424	6	96	309	418	121	236	0	1,205	64	9,837			
8	576	635	963	470	1,227	528	99	102	168	214	174	376	38	1,198	332	14	129	303	394	93	326	8	1,072	71	9,510			
9	750	658	1,128	420	1,139	545	69	40	208	220	251	447	51	1,060	296	2	34	306	311	108	292	1	1,185	23	9,544			
10	619	717	1,139	459	1,000	458	68	75	234	235	207	366	68	1,062	390	1	46	326	373	113	338	4	1,093	20	9,411			
11	798	577	870	554	1,019	417	57	42	117	253	224	488	89	1,135	476	2	44	325	385	111	185	0	1,086	5	9,259			
12	879	673	973	512	1,056	368	135	61	77	237	228	462	55	1,126	465	1	71	315	296	52	172	0	1,037	21	9,272			
1	872	606	1,154	582	901	375	118	65	155	313	194	354	55	1,213	518	3	58	326	230	63	212	10	1,226	20	9,653			
2	796	619	949	527	781	368	94	62	104	175	180	395	26	1,193	530	8	56	408	210	97	235	0	1,185	68	9,066			
3	903	596	942	542	917	388	72	83	101	223	160	311	68	1,263	559	2	182	304	330	89	244	0	1,328	69	9,676			
計	8,440	7,479	11,757	5,939	12,067	5,706	1,175	917	1,566	2,751	4,847	750	14,351	5,496	50	931	3,812	3,958	1,084	2,729	25	14,065	510	112,920				
	23,12	20,49	32,21	16,27	33,06	15,63	3,22	2,51	4,29	7,54	6,89	13,28	2,05	39,32	15,06	0,14	2,55	10,44	10,84	2,97	7,48	0,07	38,53	1,40	309,37			

6 診療科目別・月別外来患者数の状況表〔市民病院〕

月	診療日数	上段：延 患者数												下段：一日平均患者数															
		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	血液内科	腫瘍内科	腎臓内科	糖尿病内科	精神神経内科	小児科	呼吸器外科	消化器外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	救急科	計			
4	21	1,937	530	1,656	615	663	319	233	568	279	628	380	1,081	161	421	341	2,278	70	453	48	85	748	2,317	1,037	1,324	980	538	268	19,958
5	21	1,846	524	1,701	616	634	278	262	530	349	635	410	1,273	188	414	363	2,346	72	387	36	77	841	2,304	1,086	1,250	940	495	296	20,153
6	20	1,794	536	1,748	635	657	268	250	519	316	621	394	1,179	148	402	387	2,246	65	444	35	66	830	2,199	1,101	1,173	925	457	277	19,682
7	22	2,069	631	1,949	688	609	301	263	593	410	668	412	1,215	203	423	461	2,369	61	454	34	86	929	2,523	1,200	1,232	1,108	461	338	21,690
8	21	94,05	28,68	88,59	31,27	27,68	13,68	11,95	26,95	18,64	30,36	18,73	55,23	9,23	19,23	20,95	107,68	2,77	20,64	1,55	3,91	42,23	114,68	54,55	56,00	50,36	20,95	15,36	985,91
9	19	9,133	25,67	90,19	30,90	32,14	13,29	12,38	27,38	30,19	19,05	57,33	7,71	21,33	20,00	103,81	4,14	13,38	1,62	4,81	40,67	110,95	50,10	56,14	48,05	22,19	16,95	969,19	
10	22	1,876	532	1,743	628	649	274	255	466	352	646	352	1,098	155	347	454	2,200	63	427	41	82	764	2,286	1,083	1,122	879	532	279	19,585
11	20	98,74	28,60	91,74	33,05	34,16	14,42	13,42	24,53	18,53	34,00	18,53	57,79	8,16	18,26	23,89	115,79	3,32	22,47	2,16	4,32	40,21	120,32	57,00	59,05	46,26	28,00	14,68	1,030,79
12	20	2,287	658	2,017	663	692	329	295	557	555	743	396	1,252	207	422	508	2,305	78	448	37	71	811	2,430	1,195	1,252	1,080	610	343	22,041
13	22	103,95	29,91	91,68	30,14	31,45	14,95	13,41	25,32	16,14	33,77	18,00	56,91	9,41	19,18	23,09	104,77	3,55	20,36	1,68	3,23	36,86	110,45	54,32	56,91	49,09	27,73	15,59	1,001,86
14	20	101,65	27,35	94,75	31,30	31,85	14,35	13,45	26,05	18,60	29,85	18,60	54,35	9,20	19,45	23,65	102,95	2,95	19,50	1,60	2,75	35,05	112,25	53,30	58,70	46,30	22,10	11,35	983,25
15	20	1,257	728	2,411	719	768	341	26,9	636	517	684	373	1,275	173	409	520	2,103	59	419	51	80	756	2,323	1,048	1,213	966	472	317	20,887
16	20	62,85	36,40	120,55	35,95	38,40	17,05	13,45	31,80	25,85	34,20	18,65	63,75	8,65	20,45	26,00	105,15	2,95	20,95	2,55	4,00	37,80	116,15	52,40	60,65	48,30	23,60	15,85	1,044,35
17	19	1,106	692	2,246	742	780	314	288	639	511	623	359	1,212	142	388	341	2,006	60	342	34	91	692	2,360	901	1,083	871	353	368	19,544
18	19	58,21	36,42	118,21	39,05	41,05	16,53	15,16	33,63	26,89	32,79	18,89	63,79	7,47	20,42	17,95	105,58	3,16	18,00	1,79	4,79	36,42	124,21	47,42	57,00	45,84	18,58	19,37	1,028,63
19	18	959	597	2,115	646	635	306	255	510	437	582	352	1,120	149	353	309	1,965	57	300	32	78	638	2,139	822	999	846	456	257	17,914
20	20	53,28	33,17	117,50	35,89	35,28	17,00	14,17	28,33	24,28	32,33	19,56	62,22	8,28	19,61	17,17	109,17	3,17	16,67	1,78	4,33	35,44	118,83	45,67	55,50	47,00	25,33	14,28	995,22
21	20	1,033	641	2,320	723	747	306	285	576	480	678	404	1,179	148	394	387	2,179	59	406	36	81	766	2,356	1,028	1,143	1,058	491	245	20,149
22	20	51,65	32,05	116,00	36,15	37,35	15,30	14,25	28,80	24,00	33,90	20,20	58,95	7,40	19,70	19,35	108,95	2,95	20,30	1,80	4,05	38,30	117,80	51,40	57,15	32,90	24,55	12,25	1,007,45
23	20	20,115	7,155	23,695	7,950	8,146	3,602	3,184	6,692	4,743	7,739	4,604	14,175	2,020	4,810	4,974	26,236	790	4,751	450	953	9,330	27,812	12,619	14,144	11,588	5,773	3,571	24,1621
計	23	82,78	29,44	97,51	32,72	33,52	14,82	13,10	27,54	19,52	31,85	18,95	58,33	8,31	19,79	20,47	107,97	3,25	19,55	1,85	3,92	38,40	114,45	51,93	58,21	47,69	23,76	14,70	994,33

7 診療科目別・月別患者数の状況表〔大江分院〕

上段： 延 患 者 数
下段： 一日平均患者数

【入院】

(単位：人)

診療科 月	内 科	計
4	1,440	1,440
	48.00	48.00
5	1,453	1,453
	46.87	46.87
6	1,440	1,440
	48.00	48.00
7	1,518	1,518
	48.97	48.97
8	1,485	1,485
	47.90	47.90
9	1,468	1,468
	48.93	48.93
10	1,477	1,477
	47.65	47.65
11	1,276	1,276
	42.53	42.53
12	1,461	1,461
	47.13	47.13
1	1,555	1,555
	50.16	50.16
2	1,410	1,410
	50.36	50.36
3	1,547	1,547
	49.90	49.90
計	17,530	17,530
	48.03	48.03

(単位：人)

診療科 月	内 科	小児科	リハビリ テーション科	計
4	21	1,058	3	63
		50.38	0.14	3.00
5	21	1,115	4	52
		53.10	0.19	2.48
6	20	1,069	4	72
		53.45	0.20	3.60
7	22	1,137	2	81
		51.68	0.09	3.68
8	21	1,143	1	65
		54.43	0.05	3.10
9	19	1,061	4	62
		55.84	0.21	3.26
10	22	1,301	2	70
		59.14	0.09	3.18
11	20	1,383	5	64
		69.15	0.25	3.20
12	20	1,320	14	68
		66.00	0.70	3.40
1	19	1,171	9	44
		61.63	0.47	2.32
2	18	988	6	59
		54.89	0.33	3.28
3	20	1,103	5	68
		55.15	0.25	3.40
計	243	13,849	59	768
		56.99	0.24	3.16

8 企業債の償還予定期〔市民病院〕

年 度	区 分	元 金	利 子	計	
				円	円
令和7年度		1,080,687,271	106,239,967		1,186,927,238
令和8年度		1,130,820,192	95,037,559		1,225,857,751
令和9年度		1,029,566,831	82,715,429		1,112,282,260
令和10年度		931,359,376	70,276,633		1,001,636,009
令和11年度		592,020,157	58,238,583		650,258,740
令和12年度		503,041,969	47,613,397		550,655,366
令和13年度		468,696,807	37,670,655		506,367,462
令和14年度		450,482,056	28,087,998		478,570,054
令和15年度		413,327,493	18,945,263		432,272,756
令和16年度		315,866,790	10,871,208		326,737,998
令和17年度～令和30年度		387,895,722	9,245,614		397,141,336
合 計		7,303,764,664	564,942,306		7,868,706,970

9 企業債の償還予定表〔大江分院〕

年 度	区 分	元 金	利 子	計
令和7年度		49,024,299 円	2,041,015 円	51,065,314
令和8年度		49,303,400 円	1,761,915 円	51,065,315
令和9年度		49,586,413 円	1,478,901 円	51,065,314
令和10年度		49,873,410 円	1,191,905 円	51,065,315
令和11年度		34,673,899 円	912,453 円	35,586,352
令和12年度		26,031,286 円	700,204 円	26,731,490
令和13年度		9,302,966 円	598,792 円	9,901,758
令和14年度		9,165,773 円	509,727 円	9,675,500
令和15年度		6,635,696 円	436,234 円	7,071,930
令和16年度		6,668,916 円	403,014 円	7,071,930
令和17年度～令和27年度		75,598,766 円	2,192,464 円	77,791,230
合 計		365,864,824 円	12,226,624 円	378,091,448